

箕面市支援教育方針に基づく施策の検証について

令和5年12月18日
令和5年度第2回箕面市支援教育充実検討委員会

■ 箕面市支援教育方針に係るアンケートについて

<実施期間>

令和5年10月19日(木)～11月6日(月)

<対象>

校長・副校長、教頭、通常学級担任・教科担任、通級指導教室担当、支援学級担任、支援教育(看護)支援員、その他（生徒指導主事、養護教諭など）

<回答数>

246件

《内訳》

● 管理職（43件）

校長・副校長：21件

教頭：22件

● 教職員（203件）

通常学級担任・教科担任：69件

通級指導教室担当：16件

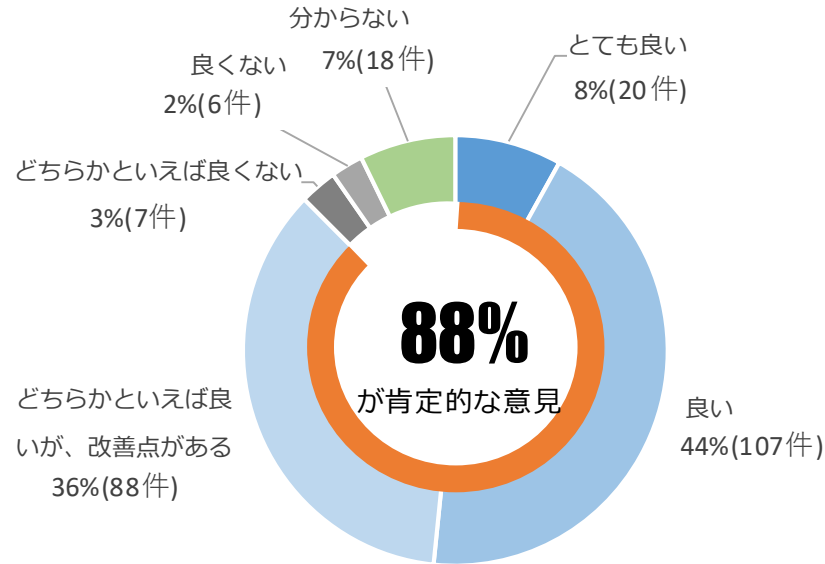
支援学級担任：53件

支援教育(看護)支援員：40件

その他（生徒指導主事、養護教諭など）：25件

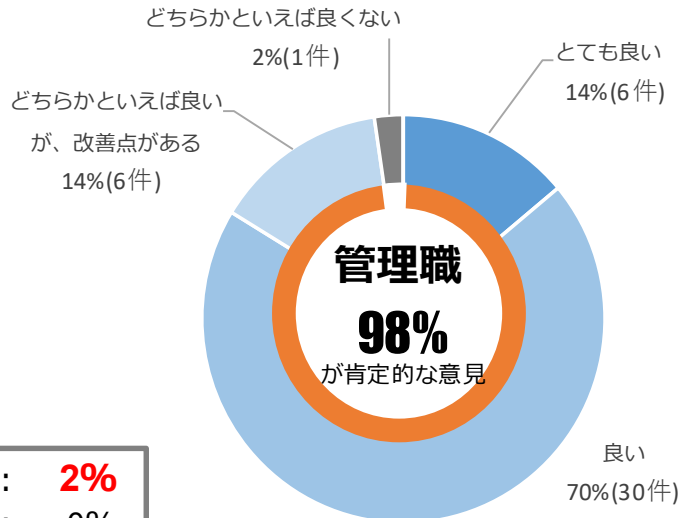
1. 箕面市支援教育方針について

全体



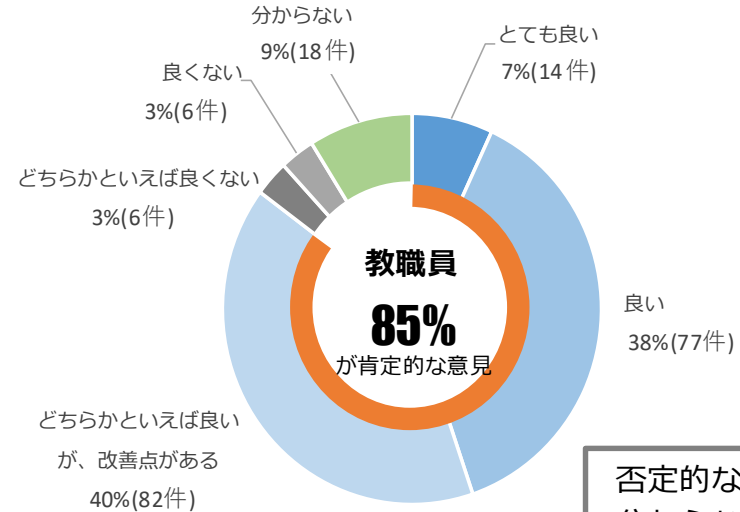
否定的な意見 : 5%
分からない : 7%

管理職



否定的な意見 : 2%
分からない : 0%

教職員

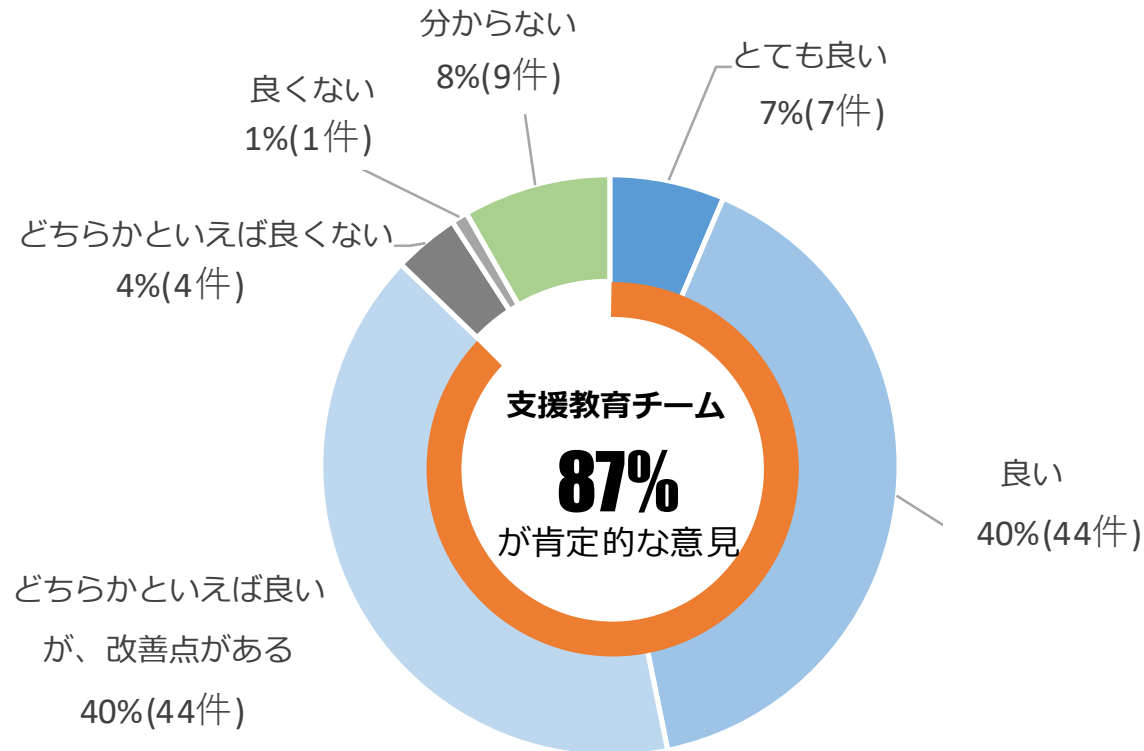


否定的な意見 : 6%
分からない : 9%

1. 箕面市支援教育方針について

支援教育チーム※

※支援教育チーム：1)通級指導教室担当 2)支援学級担任 3)支援教育(看護)支援員 の回答のみ抽出（以降も同様）



否定的な意見： **5%**
分からない： 8%

1. 箕面市支援教育方針について

肯定的な意見

- ・ 箕面市支援教育方針の方向性は良いと思う。（支援教育コーディネーター）
- ・ 箕面市の支援教育がめざしていく方向性がまとめられているのでわかりやすい。（校長・副校長）
- ・ 今後も定期的な検証を行い、トップダウンにならないように現場の意見も聞きながら修正をしてもらいたい。（首席）
- ・ 市の方針を出したことで新転任者（教職現場、行政事務局）にとって姿勢、考え方の基本が伝わりやすいと感じる。（校長・副校長）
- ・ 支援の必要の有無に関わらず、ともに学ぶ場を大切にしている点がとても良いと考える。（教頭）

改善点等

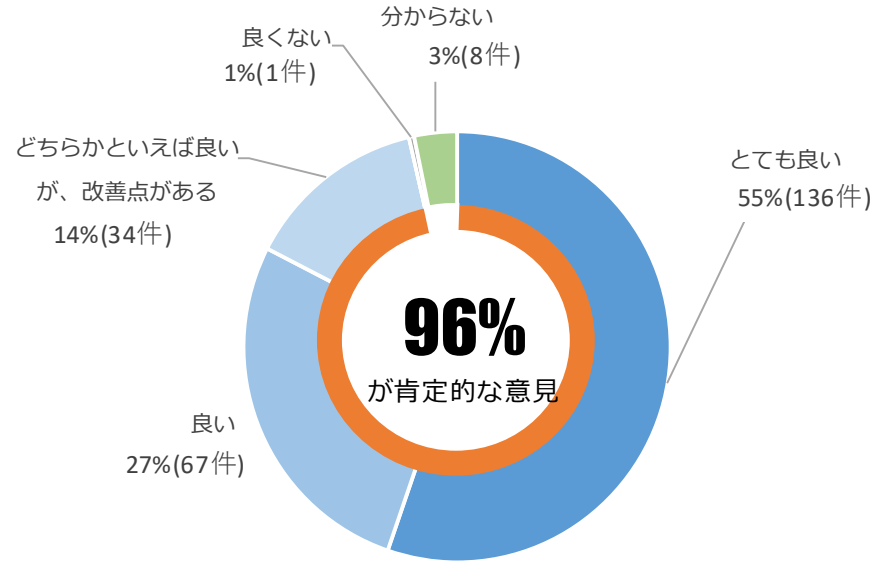
- ・ 方針としては良いが、実際にその方針で進んでいない部分があるところがあり、実際の授業でどうするかなどの具体的なものでないと思う。（支援コーディネーター）
- ・ 一人ひとりに個別最適な自立活動を実施するために必要な教室が足りていない。（支援担任）
- ・ 「ともに学び ともに育つ」というが、誰か大人が側にいるだけでは、最適な支援が行えていないと思えず、児童生徒同士の繋がりが薄いと感ずることがある。（支援担任）

■ 検討の際の視点

一人ひとりに個別最適な自立活動を実施するための工夫や手立てはあるか。

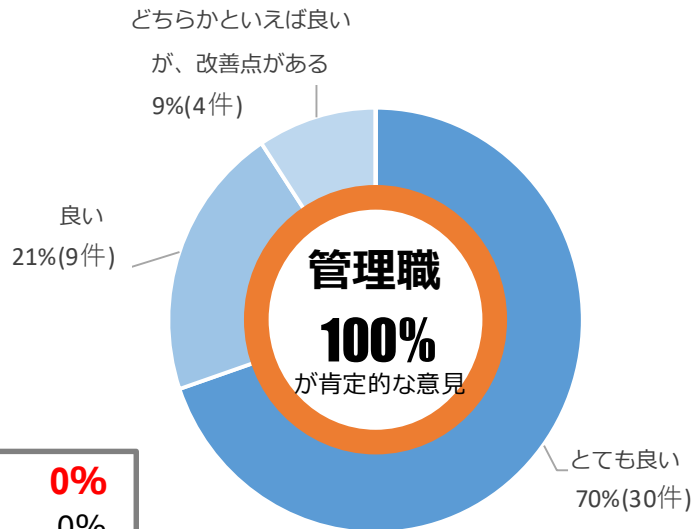
2. 通級指導教室の全校設置について

全体



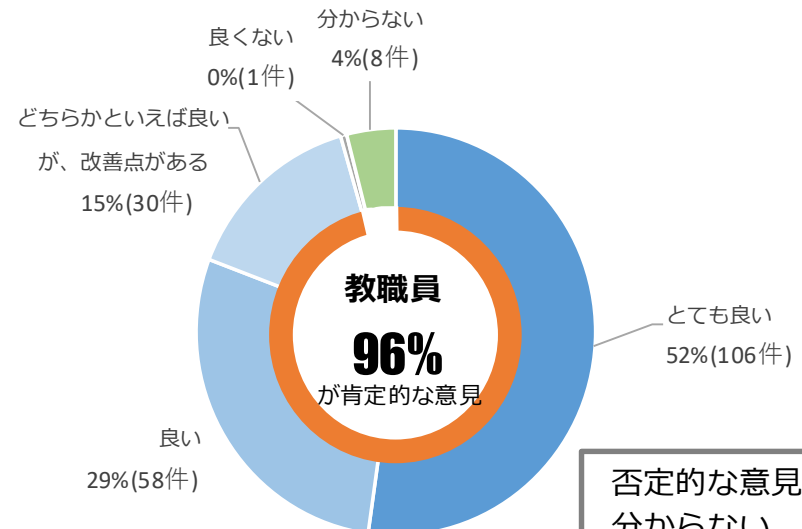
否定的な意見 : 1%
分からない : 3%

管理職



否定的な意見 : 0%
分からない : 0%

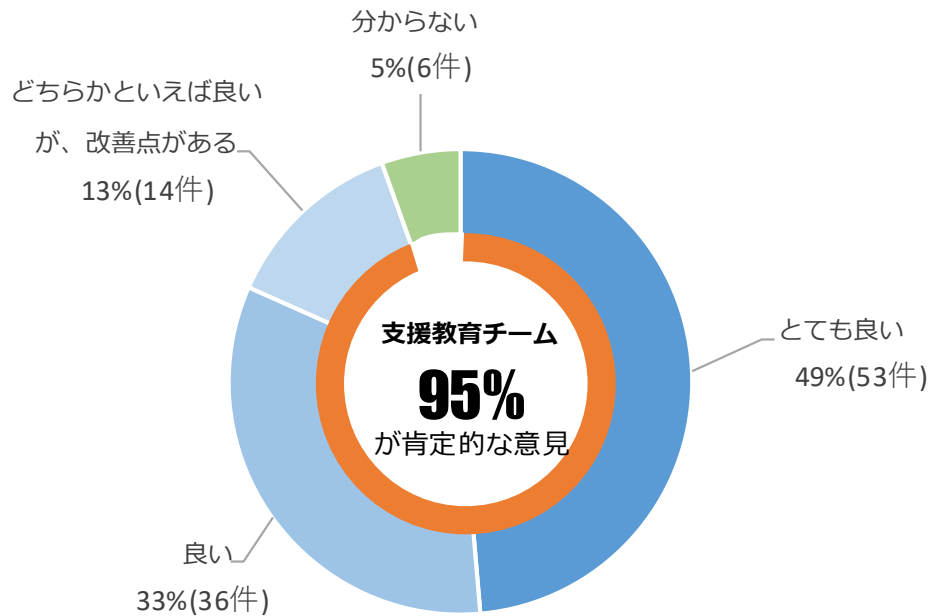
教職員



否定的な意見 : 0%
分からない : 4%

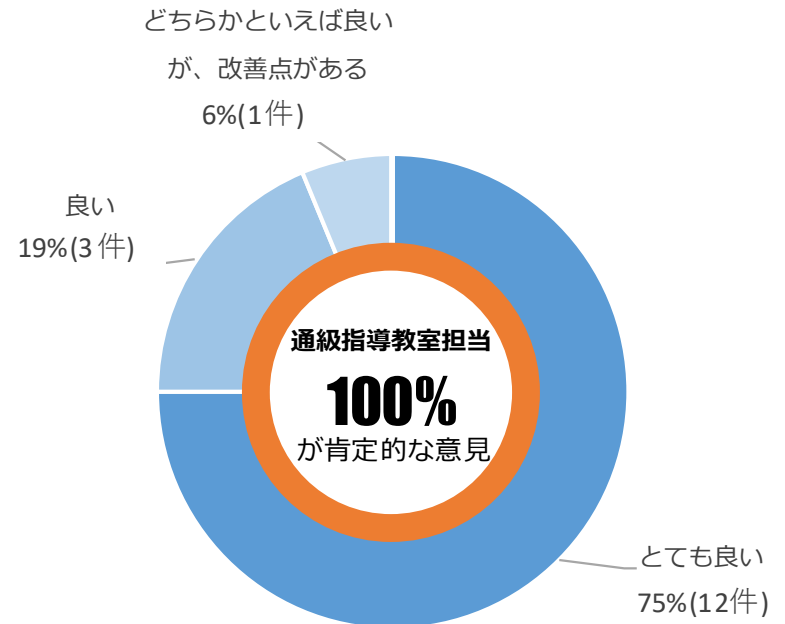
2. 通級指導教室の全校設置について

支援教育チーム



否定的な意見 : 0%
分からない : 5%

通級指導教室担当



否定的な意見 : 0%
分からない : 0%

2. 通級指導教室の全校設置について

肯定的な意見

- ・ 自校で通級指導を行えるため、迅速に児童生徒への対応ができるようになった。（通級担当）
- ・ 自校に通級指導教室担当教員がいることで、教職員間で児童生徒の情報共有がしやすくなった。（通常・教科担任）
- ・ 通級指導教室が増えたことで、困り感のある児童生徒が助かっている。（支援担任）
- ・ 中学校に通級ができたことで、支援が必要な生徒の対応ができ、学年団との協力体制も強化されている。（支援担任）
- ・ 通級指導の経験年数が豊富な通級指導教室担当教員は、生徒・保護者へのアプローチの仕方がとても良い。今後の通級指導教室担当教員の育成が重要である。（校長・副校長）

改善点等

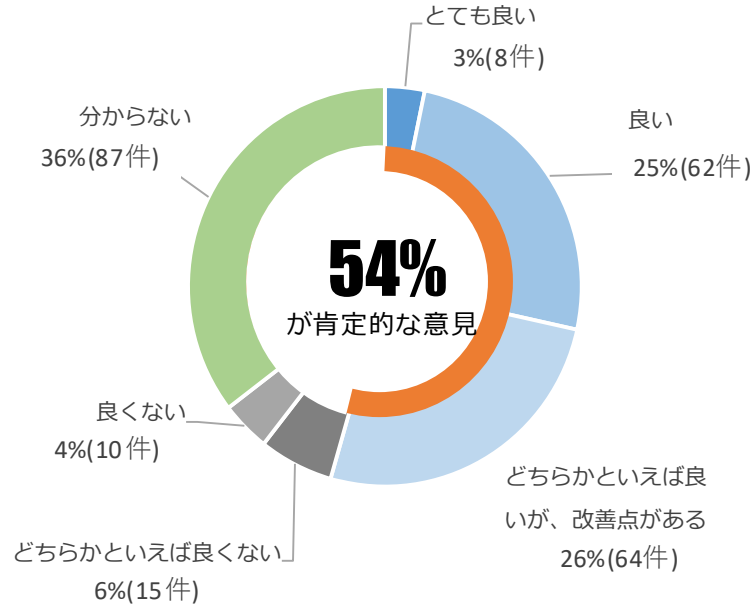
- ・ 一人あたりの担当する児童生徒の数が多く、負担が大きいので、全校設置の維持と、通級指導教室担当教員の基礎定数に応じた複数配置を確実に行ってほしい。（支援担任）

■ 検討の際の視点

担当する児童生徒数が多い場合、効果的な支援方法の手立てはあるか。

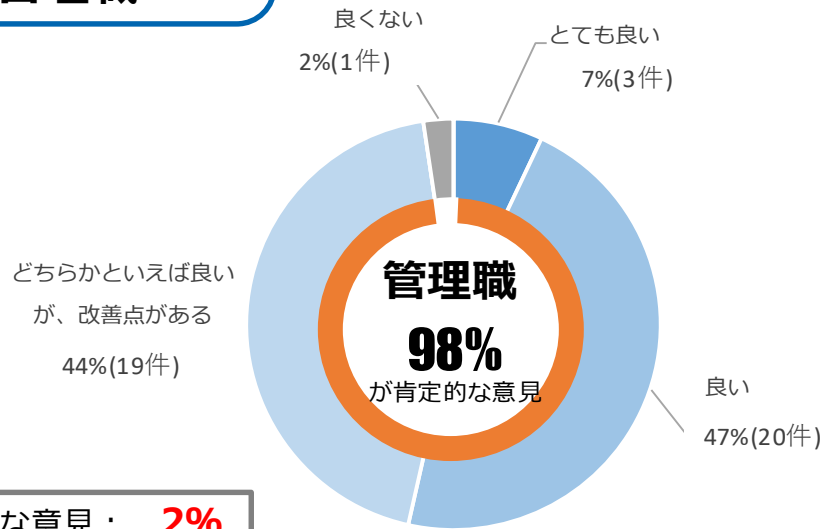
3. LITALICO教育ソフトの導入について

全体



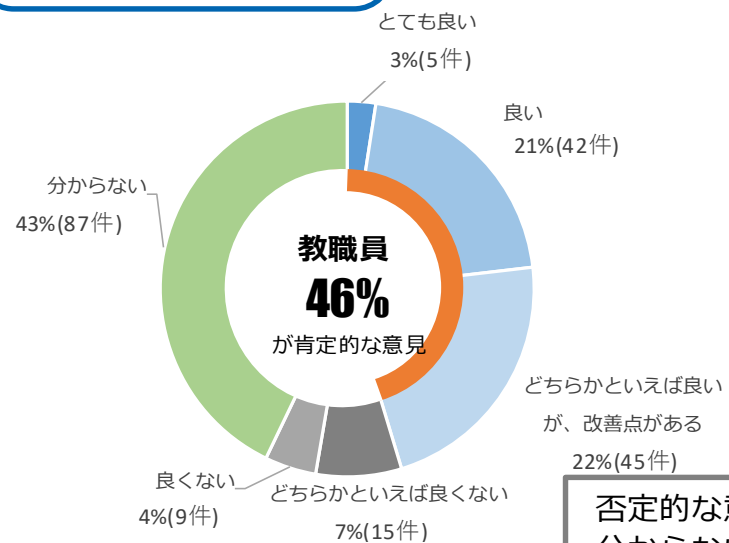
否定的な意見 : 10%
分からない : 36%

管理職



否定的な意見 : 2%
分からない : 0%

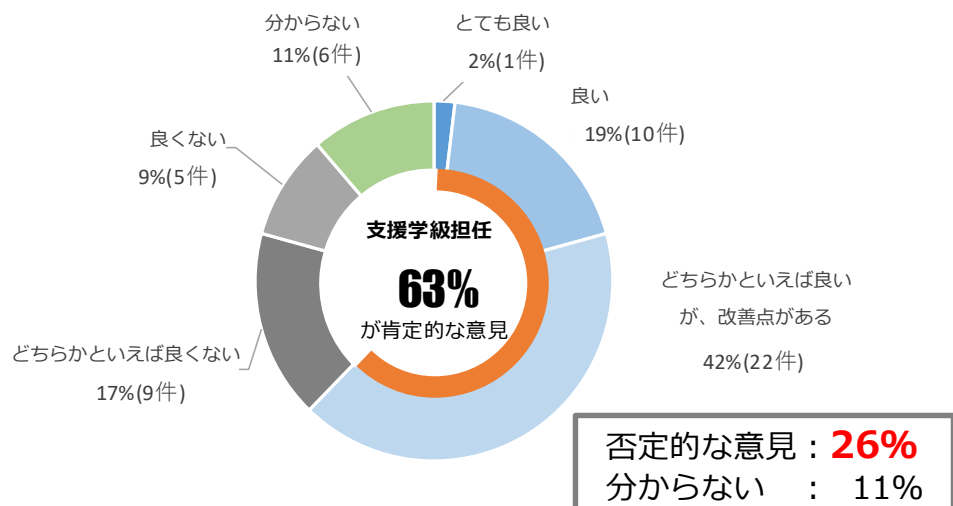
教職員



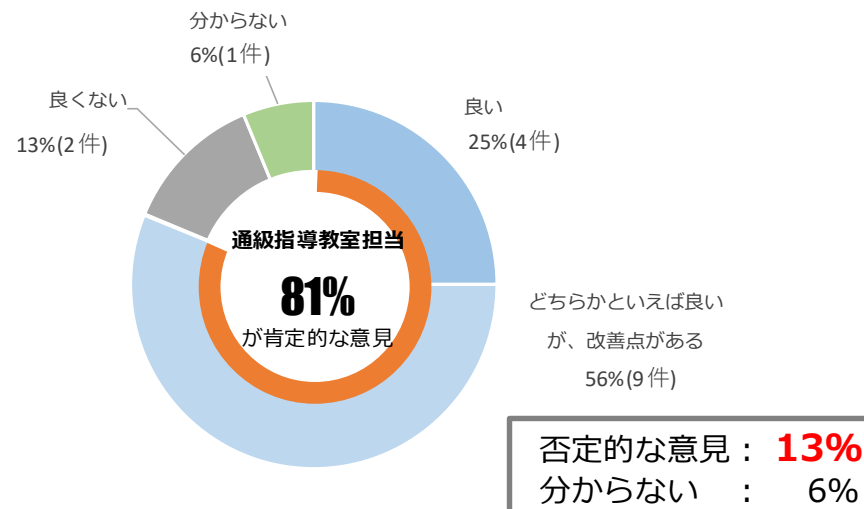
否定的な意見 : 11%
分からない : 43%

3. LITALICO教育ソフトの導入について（支援学級担任／通級指導教室担当）

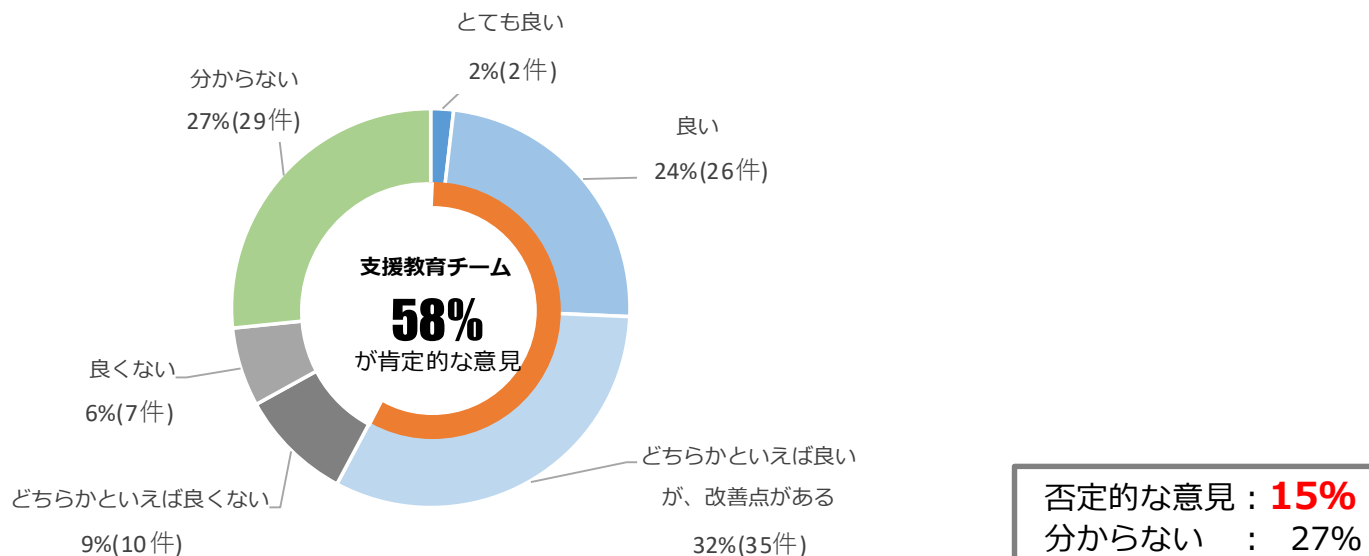
支援学級担任



通級指導教室担当



支援教育チーム



3. LITALICO教育ソフトの導入について

肯定的な意見

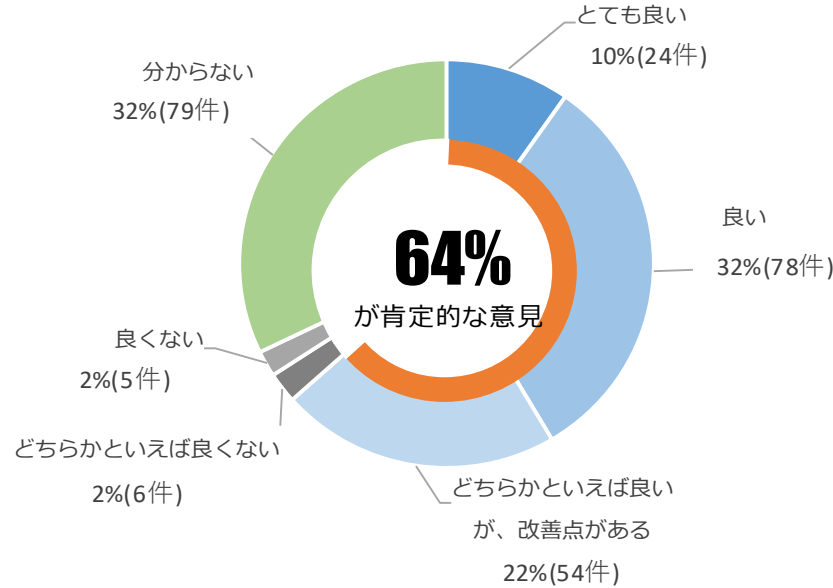
- ・ 児童生徒の実態把握や支援計画を立てる際に役に立っている。（校長・副校長）
- ・ とてもよくできているソフトなので、もっと良い点を宣伝し、支援を必要とする児童生徒全員の活用を積極的に推進してほしい。（通級担当）
- ・ 保護者へのアンケートについて改善すべきところはあるが、その都度、学校現場の意見を加味していただいていることは評価できる。（校長・副校長）
- ・ 指導計画等の書面が統一され、以前より作成しやすくなった。（支援担任・通級担当）
- ・ 学習プリント等の教材を活用することができている。（支援担任）

改善点等

- ・ 使いにくい部分もあるため、使いやすいソフトとするために現場の意見を聞いて、今後少しずつ改善してほしい。（支援担任）
- ・ 指導計画に紐付いている教材等が全て活用できていないため、支援学級担任だけでなく、全教職員に対する丁寧な研修が必要である。（校長・副校長）
- ・ 保護者アンケートの質問項目が多く、Webで入力できるようにするなど保護者の負担軽減を検討してほしい。（支援担任）
- ・ LITALICO教育ソフトを利用できるパソコンの数に限りがあるため、利用しづらいと感じる。（支援担任）

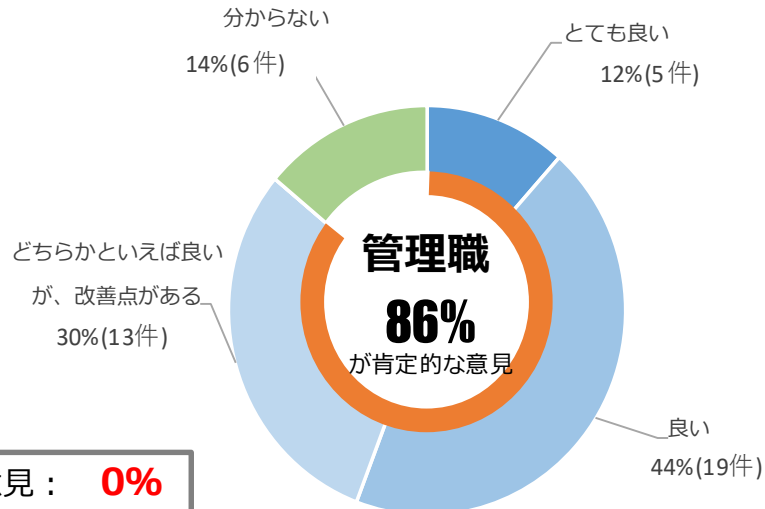
4. 「支援教育介助員」を「支援教育支援員」に移行したことについて

全体



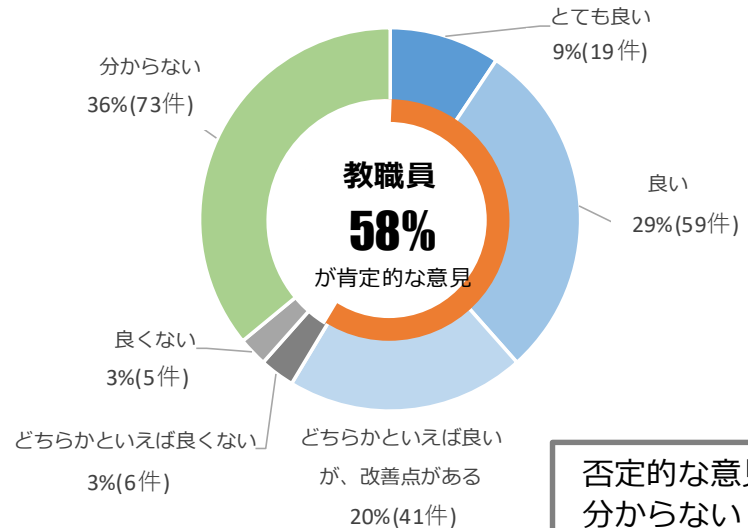
否定的な意見 : **4%**
分からない : 32%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 14%

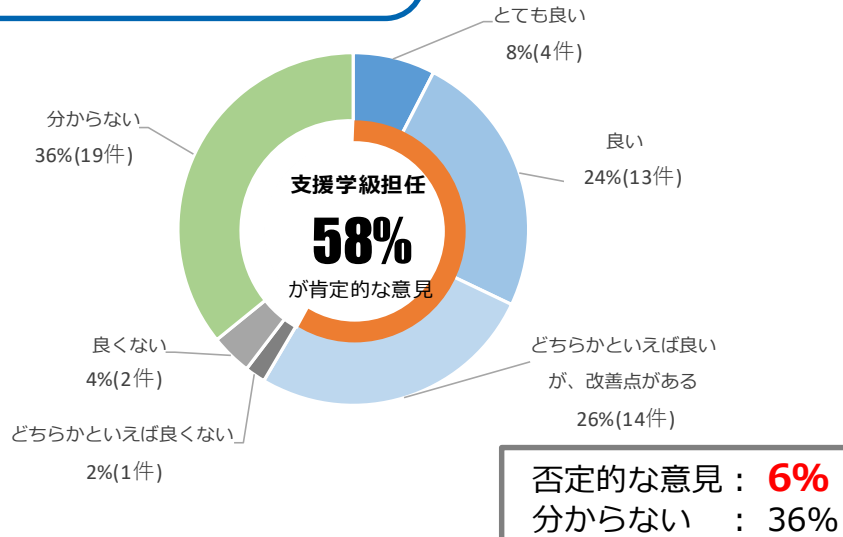
教職員



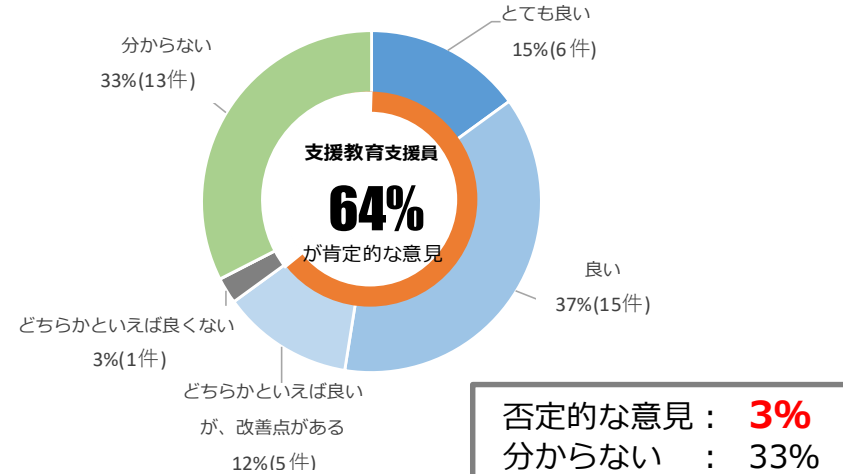
否定的な意見 : **6%**
分からない : 36%

4. 「支援教育介助員」を「支援教育支援員」に移行したことについて

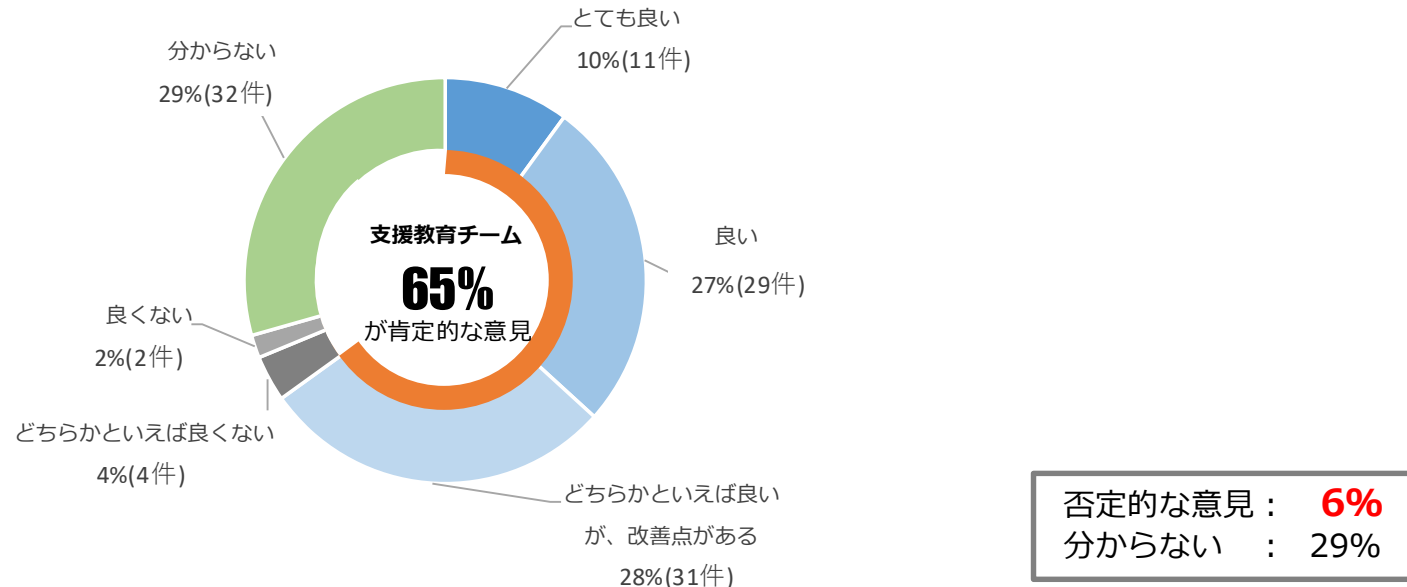
支援学級担任



支援教育支援員



支援教育チーム



4. 「支援教育介助員」を「支援教育支援員」に移行したことについて

肯定的な意見

- ・箕面市として障害の有無に関わらず、子どもを見るという視線は良いことだと思う。（校長・副校長）
- ・支援学級に在籍していない困り感のある児童生徒も支援の対象となり助かっている。（通常・教科担任）
- ・来年度から学びの場を変更する児童生徒もおり、支援が必要な児童生徒に支援を行ってもらえるよう、支援教育支援員のかたに、市でも継続して支援方法の研修を行ってほしい。（通級担当）

改善点等

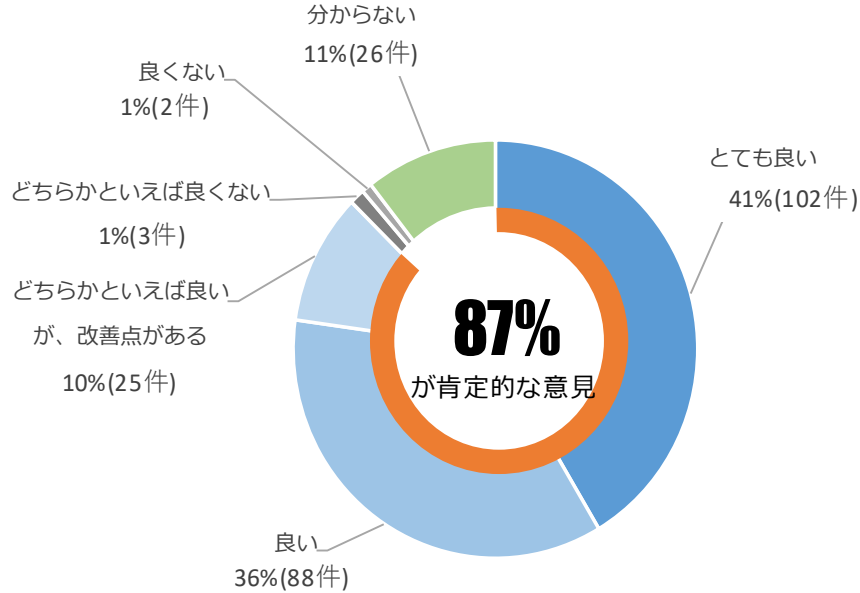
- ・名称の変更だけでなく、名称変更の背景の周知や、支援教育支援員のスキル向上も必要である。（通常・教科担任）
- ・支援学級に在籍する児童生徒数に合わせた人数配置となっており、支援学級在籍児童生徒の支援で精一杯である。（通級担当）

■ 検討の際の視点

支援教育支援員のスキル向上のために研修以外にどのような工夫をすればよいか。

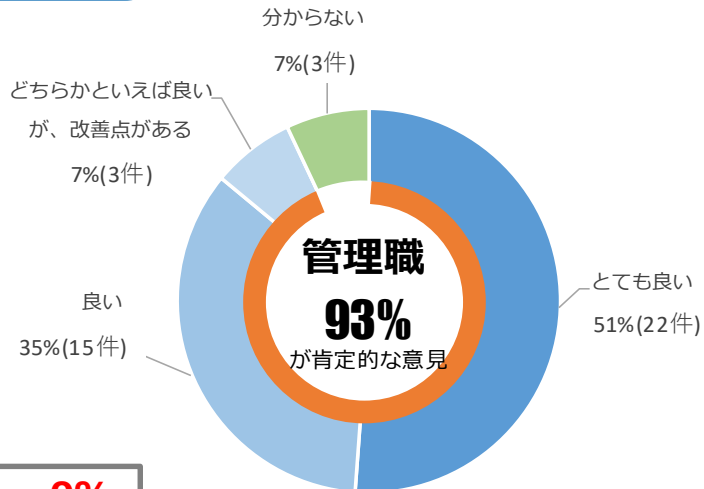
5. 支援教育支援員（任期付）の増員について

全体



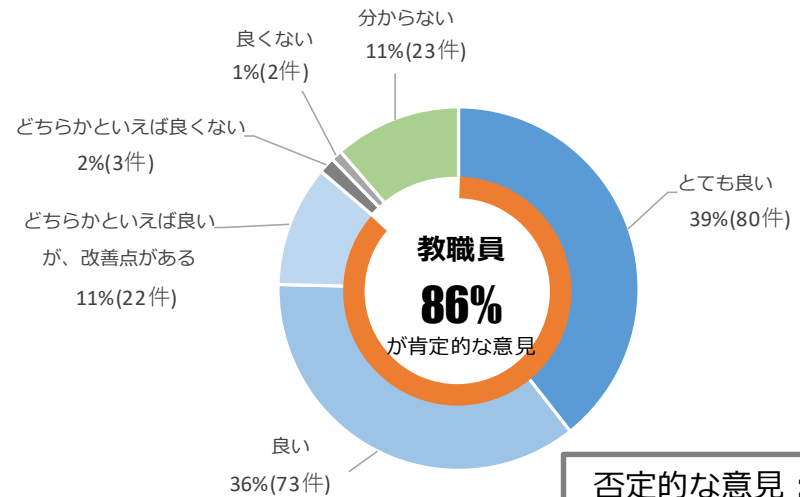
否定的な意見 : **2%**
分からない : 11%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 7%

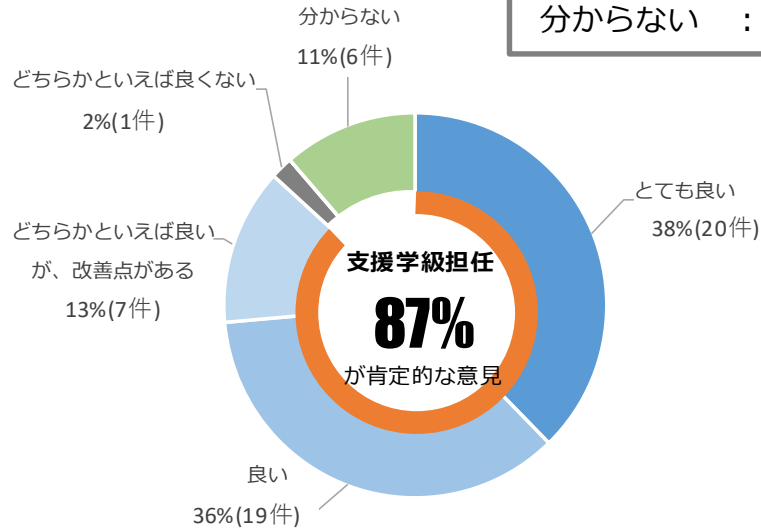
教職員



否定的な意見 : **3%**
分からない : 11%

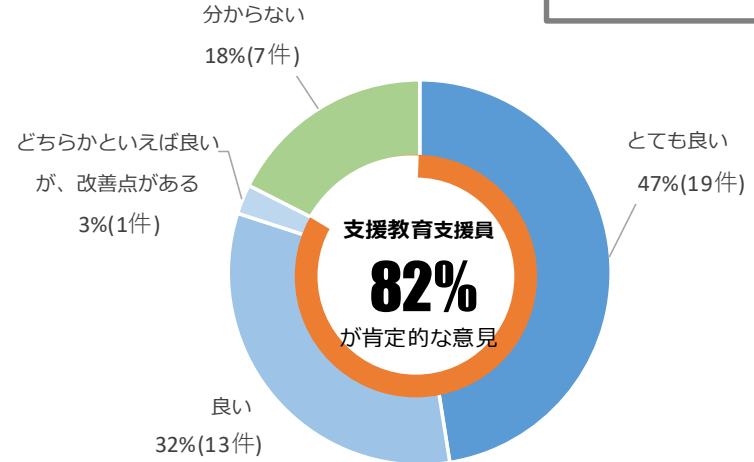
5. 支援教育支援員（任期付）の増員について

支援学級担任



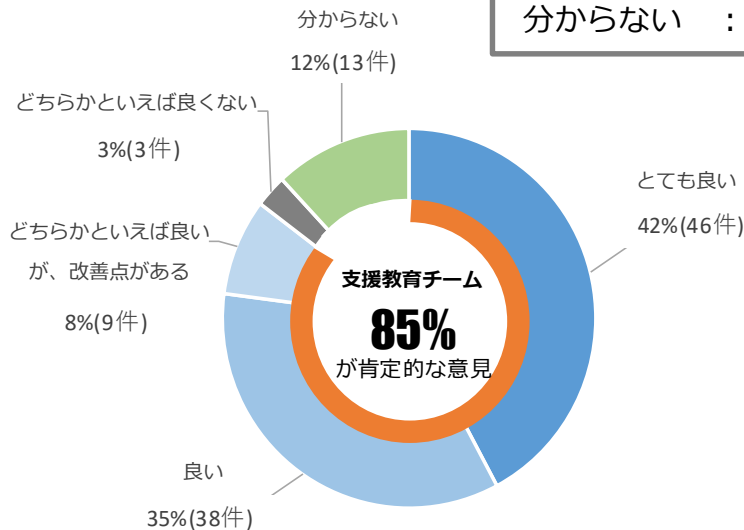
否定的な意見： **2%**
 分からない： **11%**

支援教育支援員



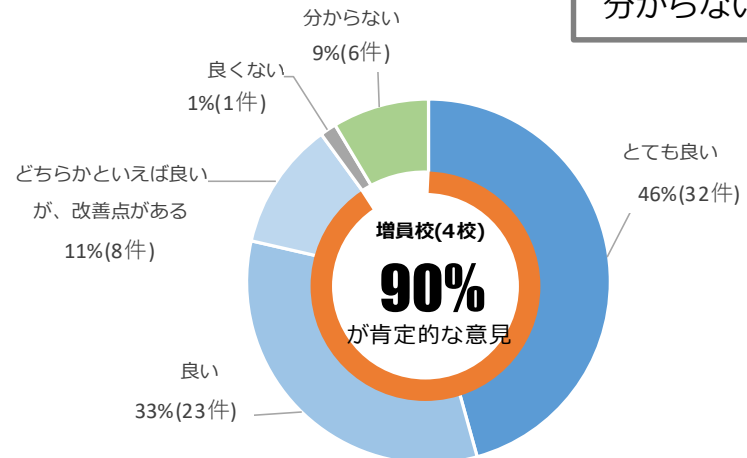
否定的な意見： **0%**
 分からない： **18%**

支援教育チーム



否定的な意見： **3%**
 分からない： **12%**

増員校(4校)*



否定的な意見： **1%**
 分からない： **9%**

5. 支援教育支援員（任期付）の増員について

肯定的な意見

- ・ 支援教育に理解があり、専門性が高く、児童生徒の支援に尽力してもらえる職員が増えたことは、とても良いと思う。（支援担任）
- ・ 継続的に責任をもってやり遂げる任期付の人材が必要であるので良いと思う。（教頭）
- ・ 任期付の支援教育支援員が複数配置されていると、相談もでき、役割分担もできるので、今後も複数配置をしてほしい。（通級担当）
- ・ 経験豊富な任期付の支援教育支援員の継続雇用と、労働条件充実は必要不可欠である。児童生徒や経験年数の浅い教職員へ助言できる立場や会計年度任用職員の支援教育支援員のまとめ役として、人材を育てるためにも喜ばしいことと考える。（校長・副校長）

改善点等

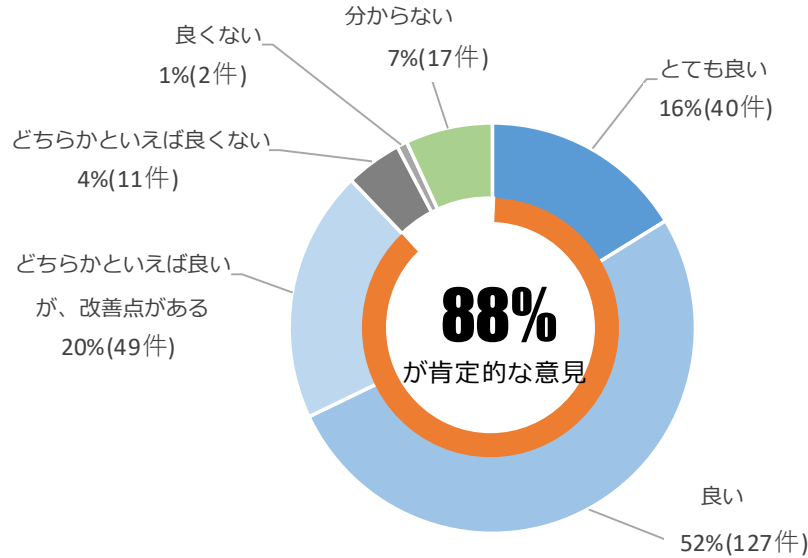
- ・ 任期付の役割について、個人によって捉え方にばらつきがあるように感じるため、明確にする必要がある。（校長・副校長）
- ・ 支援教育支援員だけでなく、その他の教職員も増員してほしい。（通常・教科担任）

■ 検討の際の視点

専門性が高い任期付の支援教育支援員と会計年度任用職員の支援教育支援員の違いと求められる役割について

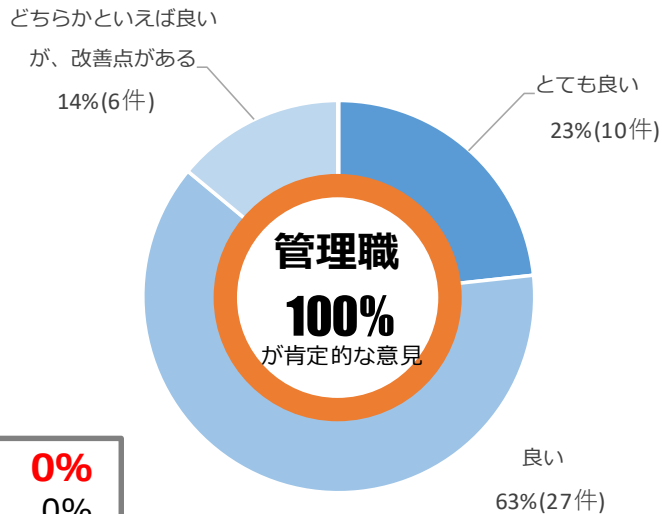
6. 合理的配慮や支援教育に係る研修の充実について

全体



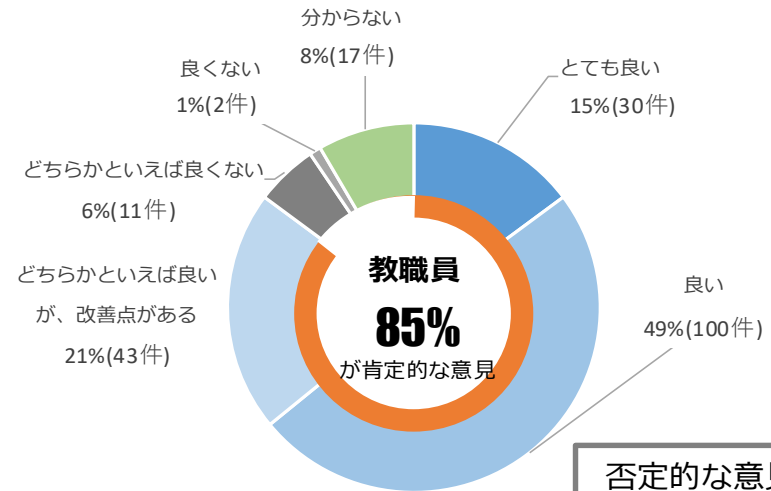
否定的な意見 : **5%**
分からない : 7%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 0%

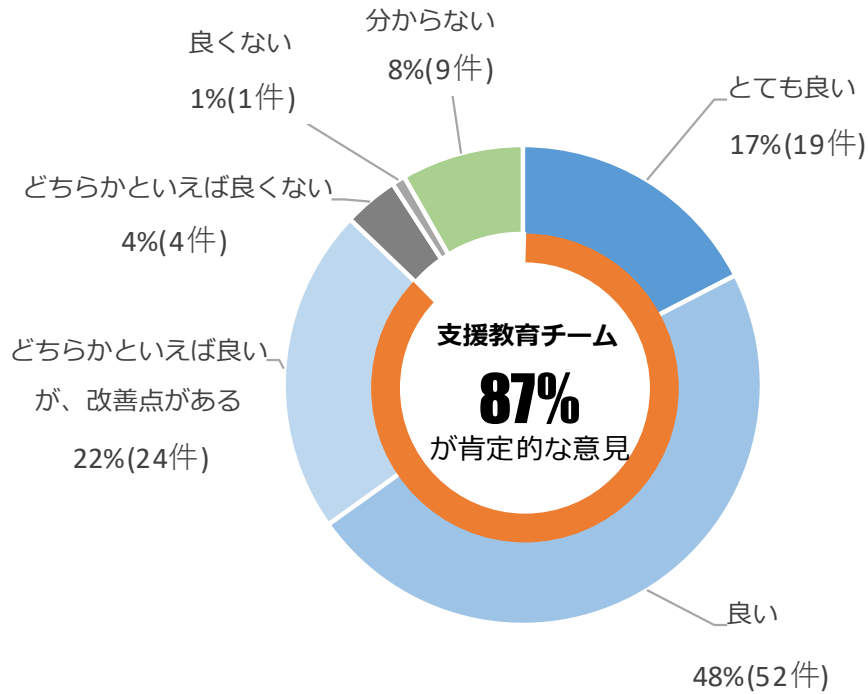
教職員



否定的な意見 : **7%**
分からない : 8%

6. 合理的配慮や支援教育に係る研修の充実について

支援教育チーム

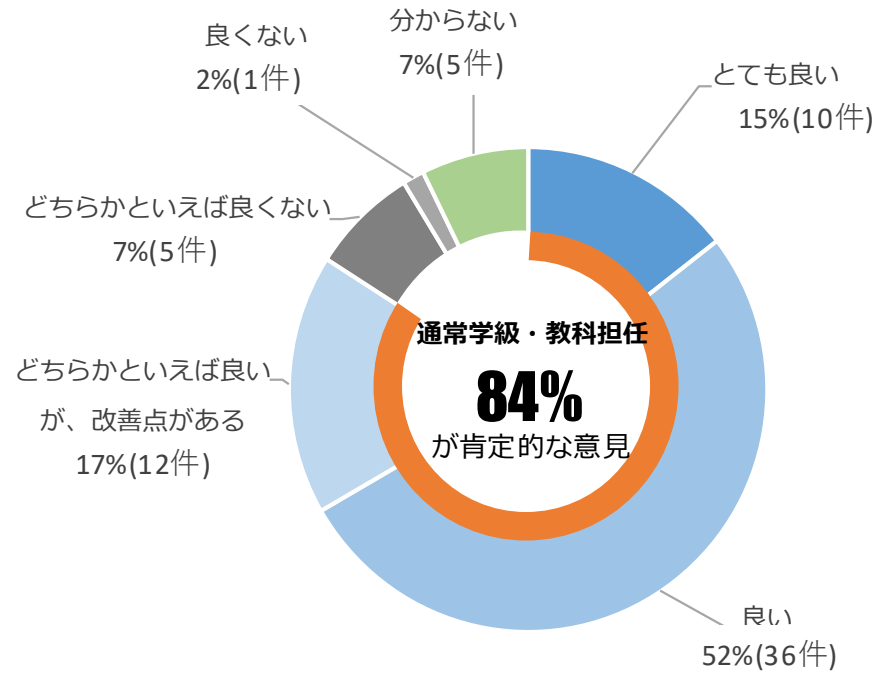


支援教育チーム

87%
が肯定的な意見

否定的な意見 : **5%**
分からない : 8%

通常学級・教科担任



通常学級・教科担任

84%
が肯定的な意見

否定的な意見 : **9%**
分からない : 7%

6. 合理的配慮や支援教育に係る研修の充実について

肯定的な意見

- ・ 人権施策室と連携して実施した校内支援教育授業研修が非常に良かった。（校長・副校長）
- ・ 今後も研修の充実を図り、支援教育に関する研修は全教職員に何度も受講してほしい。（支援担任）
- ・ 合理的配慮は、これからの教育にとっても重要な項目であり、教職課程で学んだはずでも実際の学校現場では、自らが考える力が必要不可欠であるため、研修は繰り返し必要であると感じる。（校長・副校長）

改善点等

- ・ 合理的配慮に対する理解が全体に浸透していないと感じる部分や、紹介された事例を実践に活かすことができていない部分がある。（支援担任）
- ・ 全体への研修に加えて、さらに個別に指導を受けられると良いと感じる。（教頭）
- ・ 研修を受講することは大切だと感じるが、研修を受講する時間がないのが現状である。（生徒指導）

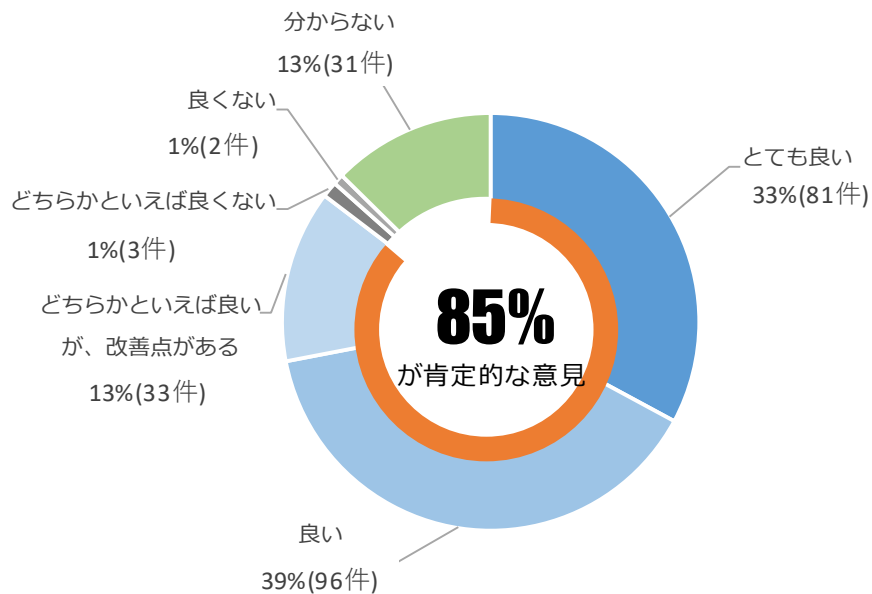
■ 検討の際の視点

効果的な研修方法や研修内容について

- （例）
- ・ 全体への研修はZoomとオンデマンド配信を併用する。
 - ・ 全体への研修ばかりでなく、対象校を絞り込み、実際に学識経験者に学校を見てもらい、研修を行ってもらう。

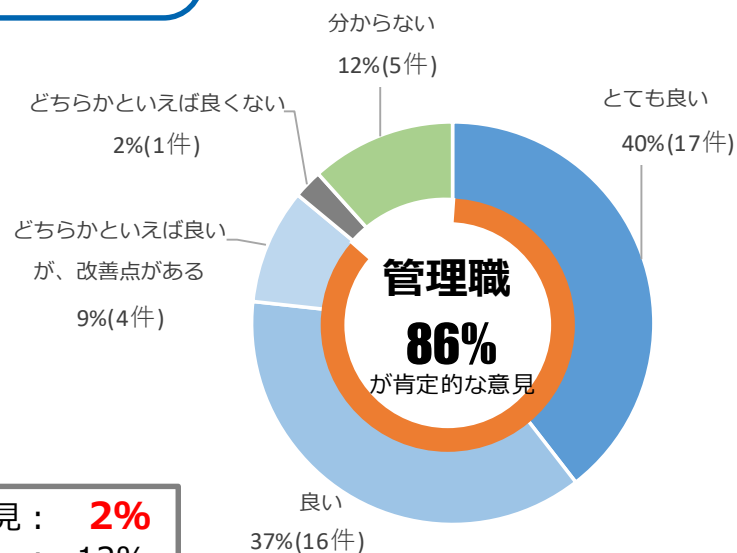
7. 支援教育コーディネーターの加配について

全体



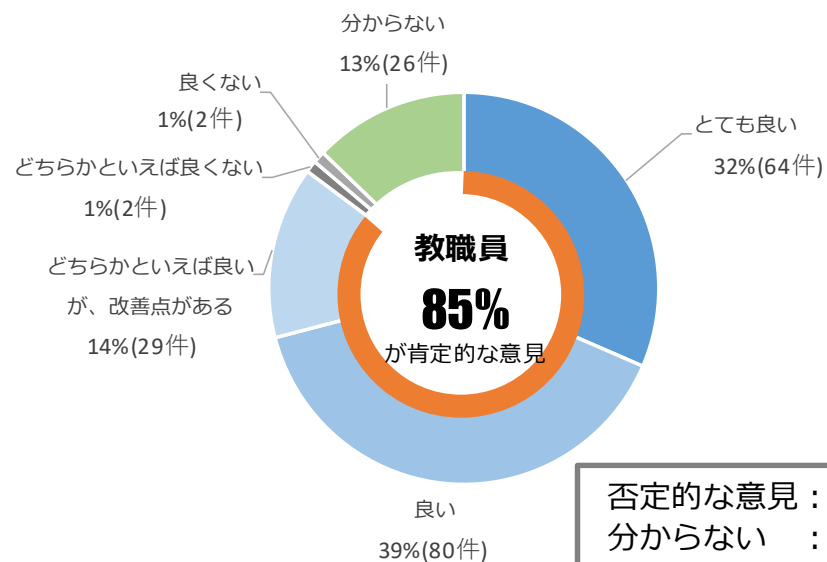
否定的な意見 : 2%
分からない : 13%

管理職



否定的な意見 : 2%
分からない : 12%

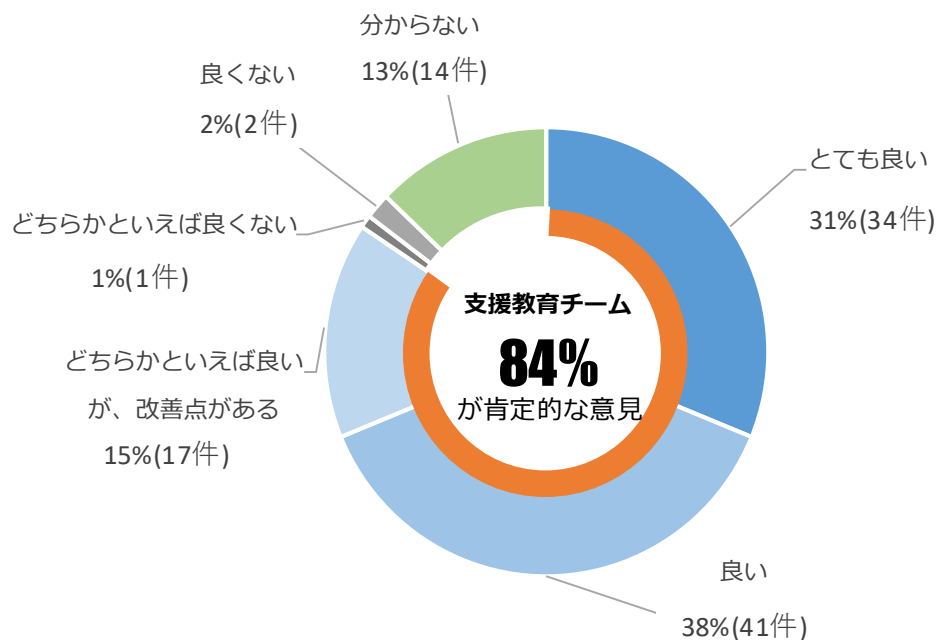
教職員



否定的な意見 : 2%
分からない : 13%

7. 支援教育コーディネーターの加配について

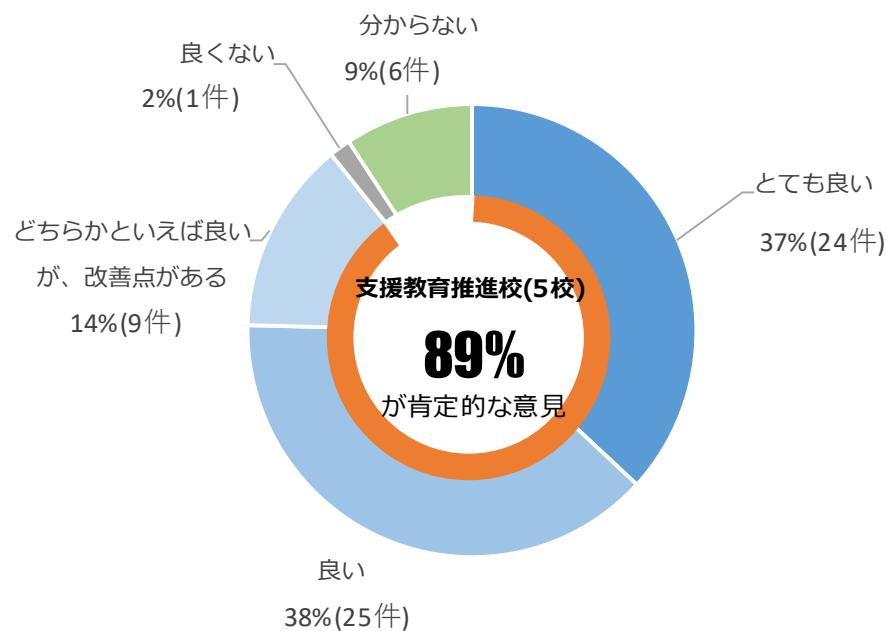
支援教育チーム



否定的な意見 : 3%
分からない : 13%

支援教育推進校(5校)※

※とどろみの森学園、中小、豊川南小、一中、五中



否定的な意見 : 2%
分からない : 9%

7. 支援教育コーディネーターの加配について

肯定的な意見

- ・ 支援教育を転換させていくために、支援教育コーディネーターを専任にし、全体調整を行う体制をとることは非常に有効であり、とても有益である。（校長・副校長）
- ・ 外部機関との連携やLITALICO教育ソフトを利用して分析するなど、役割を担ってくれている。（通級担当）
- ・ 支援学級在籍の有無に関わらず、すぐに相談することができる。（通常・教科担任）
- ・ 加配がいることで全体が見渡せ、最新の情報を教育委員会から得ることや、子ども、保護者への接し方をコーディネートすることができる。（校長・副校長）

改善点等

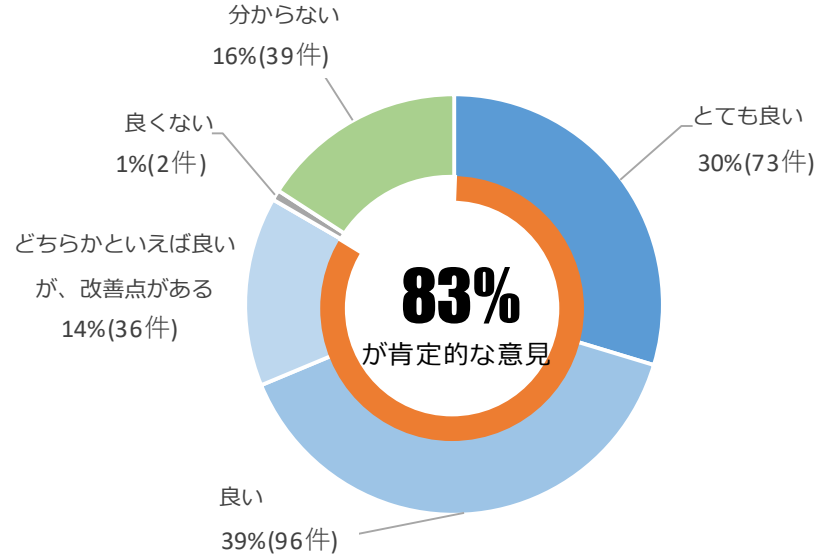
- ・ 支援学級担任が欠員になると、支援教育コーディネーターがその代わりとなり、本来の支援教育コーディネーターとしての仕事ができなくなる場合がある。（通級担当）
- ・ 支援教育コーディネーター研修の充実をお願いしたい。（教頭）

■ 検討の際の視点

支援教育コーディネーターの効果的な校内での動き方など工夫はあるか。

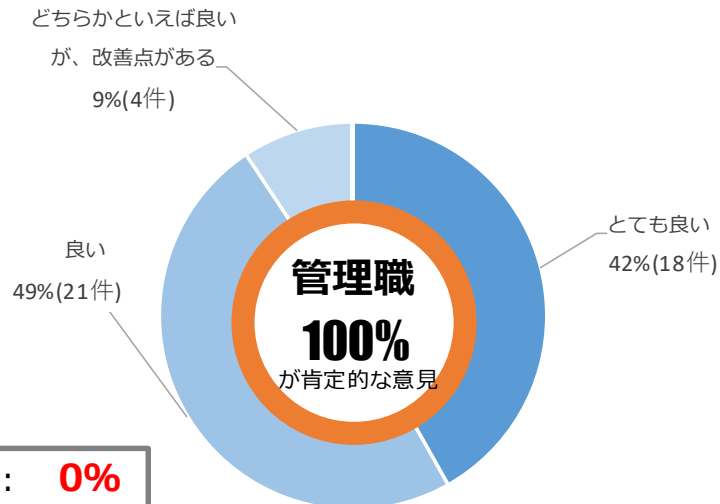
8. 特別支援学校教諭免許取得費用のサポートについて

全体



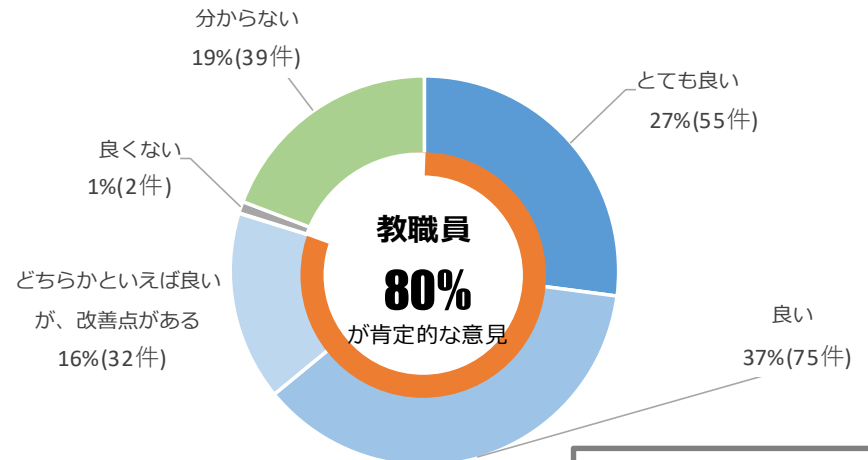
否定的な意見 : **1%**
分からない : 16%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 0%

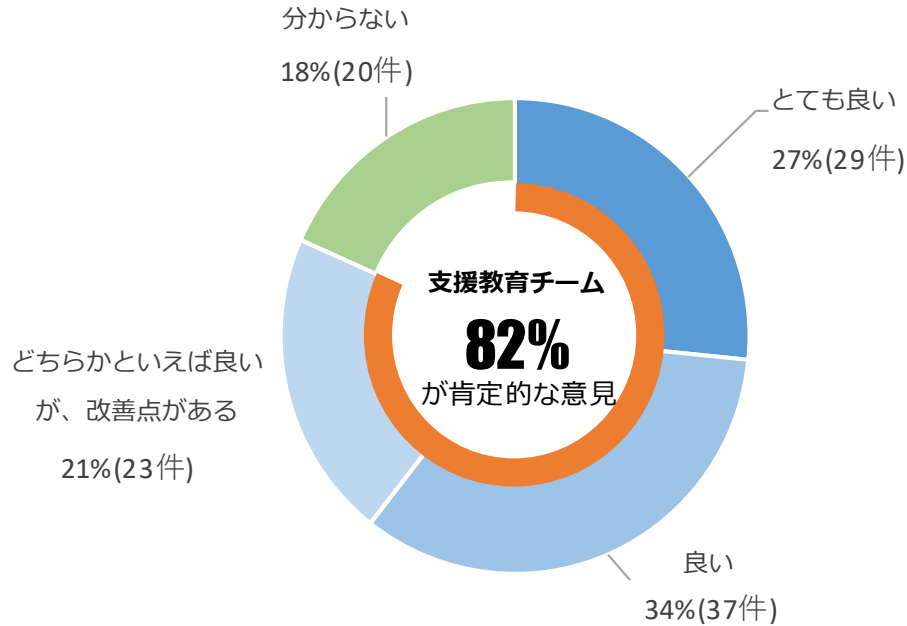
教職員



否定的な意見 : **1%**
分からない : 19%

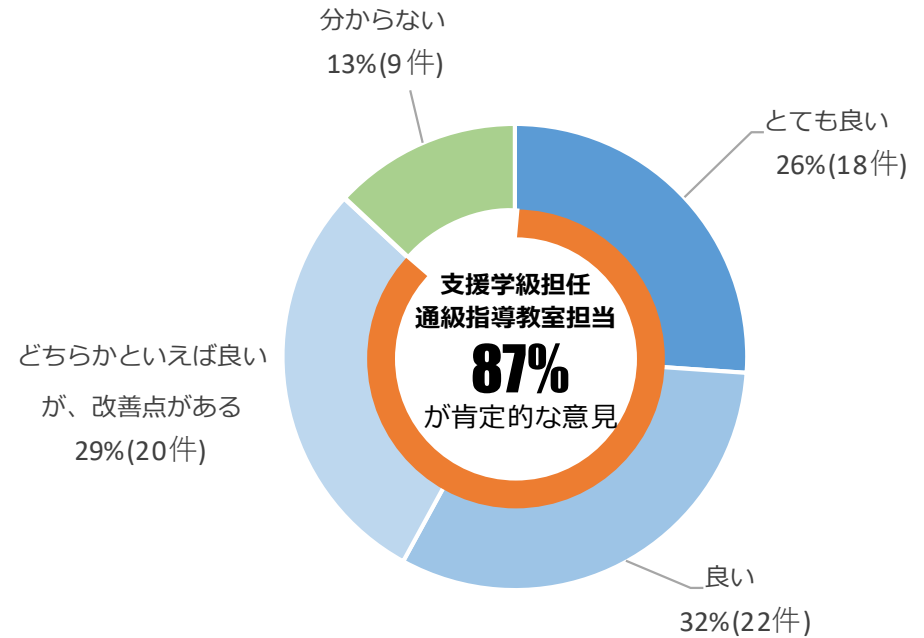
8. 特別支援学校教諭免許取得費用のサポートについて

支援教育チーム



否定的な意見 : **0%**
分からない : 18%

支援学級担任／通級指導教室担当



否定的な意見 : **0%**
分からない : 13%

8. 特別支援学校教諭免許取得費用のサポートについて

肯定的な意見

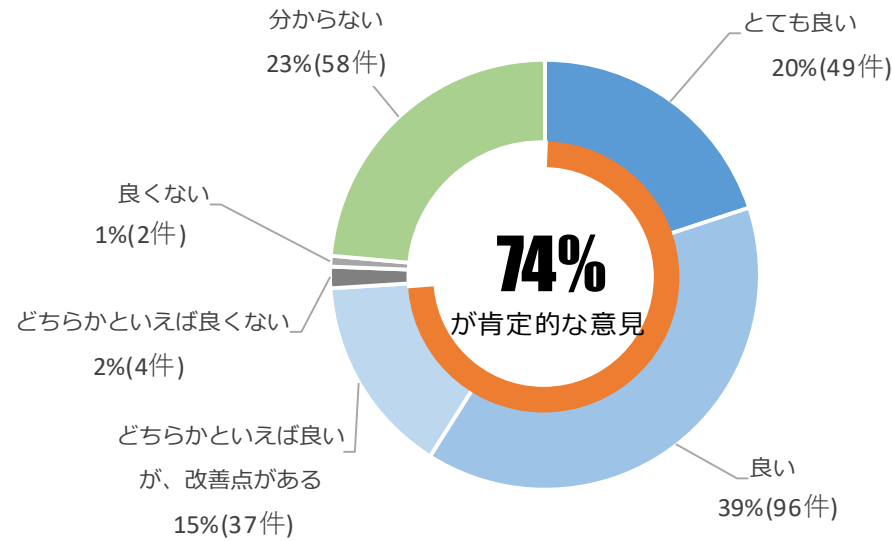
- ・意欲的に希望を持つ先生がたへの費用サポートはとてもありがたい。（支援教育コーディネーター）
- ・支援教育について深く学び、理解しようとする先生が増えて良いと思う。（支援員）
- ・現在、免許を取得するために大学の講義を受講しているが、とても勉強になっているため、今後もこのサポートはぜひ継続してほしいと考える。（通級担当）
- ・手厚いサポートだと思うが、ただ免許を取得するだけでなく、取得したことによって児童生徒にとってプラスになる何かを学んできてもらいたいと感じる。（校長・副校長）

改善点等

- ・各校1人ではなく、希望者が受講できるほうが良いと感じる。（支援担任）

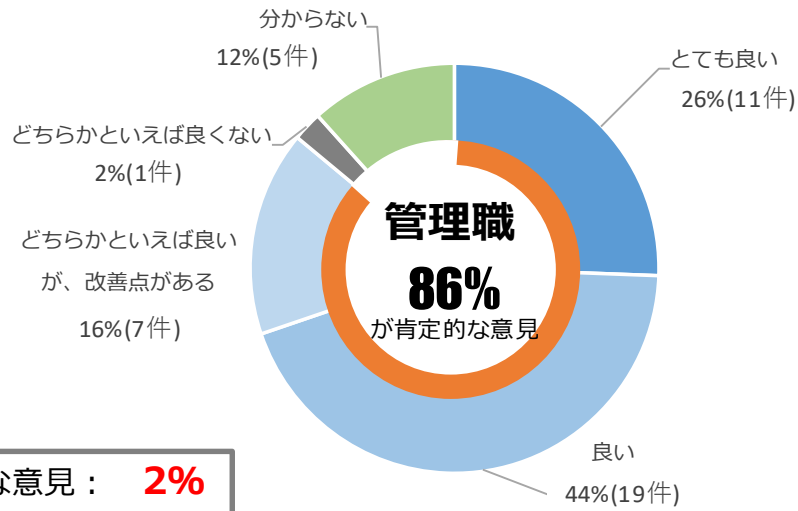
9. 府立支援学校への派遣研修について

全体



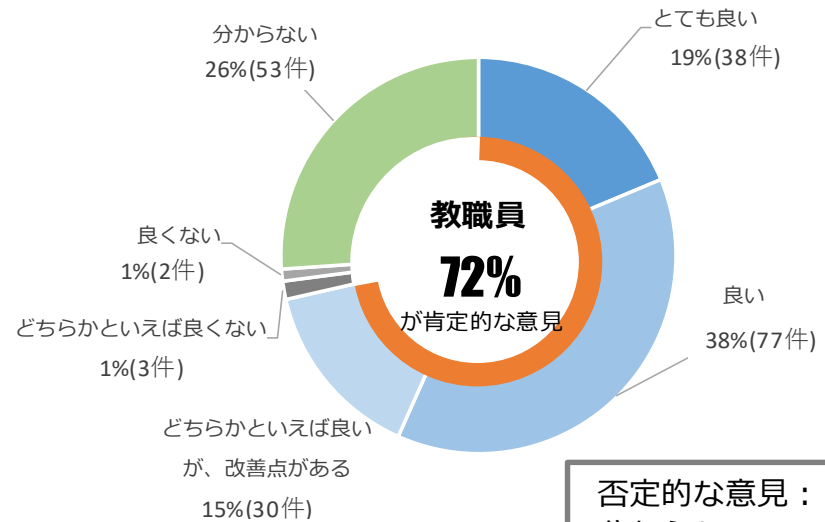
否定的な意見 : **3%**
 分からない : 23%

管理職



否定的な意見 : **2%**
 分からない : 12%

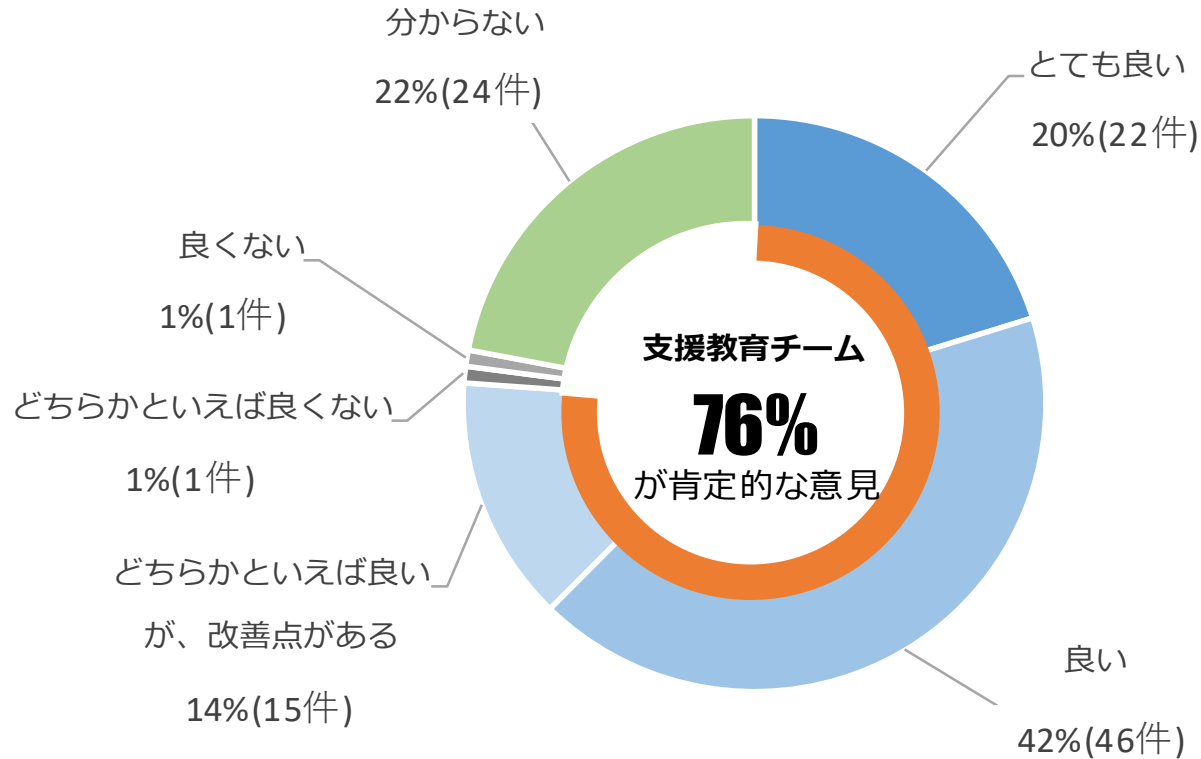
教職員



否定的な意見 : **2%**
 分からない : 26%

9. 府立支援学校への派遣研修について

支援教育チーム



否定的な意見 : **2%**
分からない : 22%

9. 府立支援学校への派遣研修について

肯定的な意見

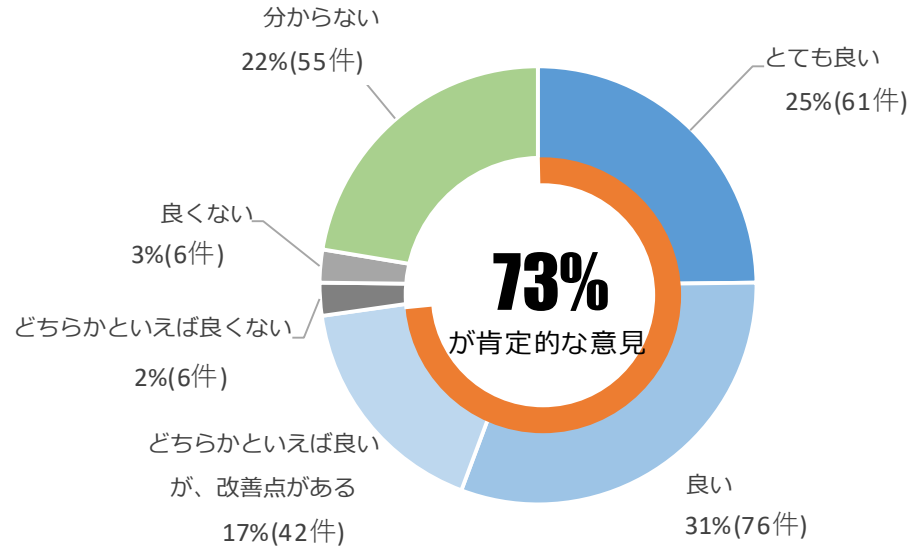
- ・実際に支援学校に行き、自立活動について学ぶことができる良い機会である。（支援担任）
- ・有意義な研修だと思うので、受け身の研修姿勢ではなく、自校で活かすためにどのようにすればよいかを意識して学んできてもらいたいと考える。（校長・副校長）
- ・派遣研修を通じて、自立活動のイメージや自立活動を積み上げていくことによる児童生徒の成長などが実感でき、教職員の意識改革や活動内容の見直しに活かすことができていると感じる。（校長・副校長）
- ・もっと積極的に派遣研修を進め、管理職の派遣研修も検討してほしい。（教頭）

改善点等

- ・派遣研修で得たスキル等、支援教育支援員にも共有してほしいと感じる。（支援員）
- ・派遣研修に行っている間、現場の先生の業務が増えるため、配慮が必要であると感じる。（支援担任）
- ・インクルーシブ教育を推進している学校や先進的な取組をしている小中学校への派遣研修や視察を検討してほしい。（支援担任）
- ・良い経験ではあるが、支援学校と教育課程や時程等の違いもあり、通常校で取り入れにくい部分もあった。（支援コーディネーター）

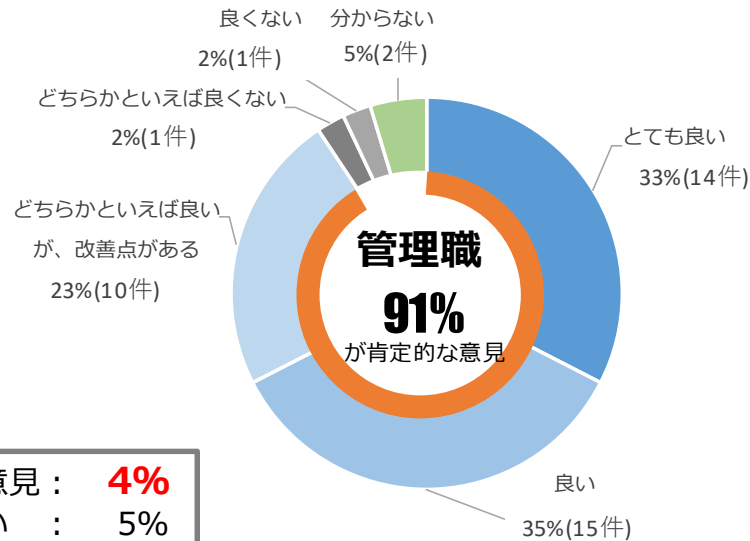
10. 柔軟に人事異動ルールを実施することについて

全体



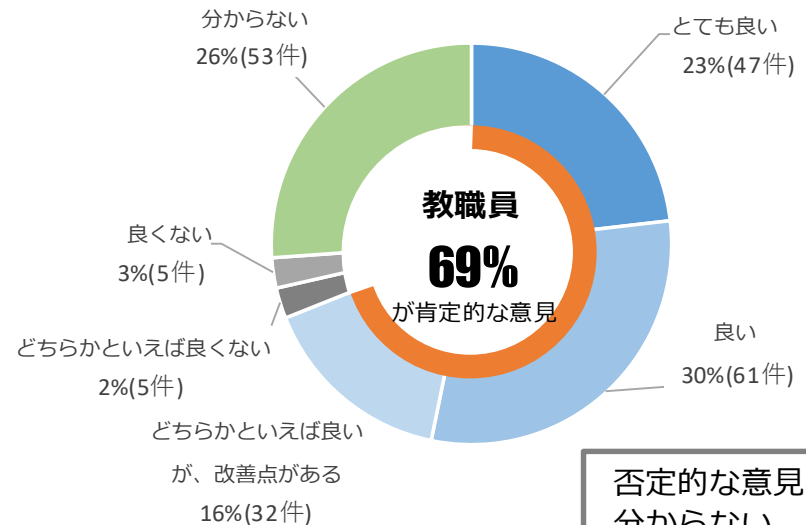
否定的な意見 : 5%
分からない : 22%

管理職



否定的な意見 : 4%
分からない : 5%

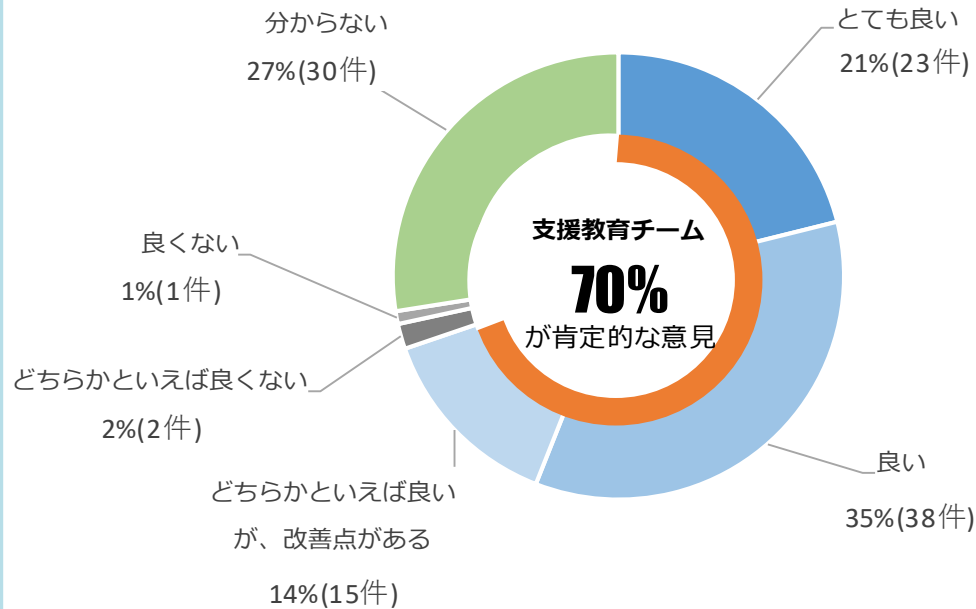
教職員



否定的な意見 : 5%
分からない : 26%

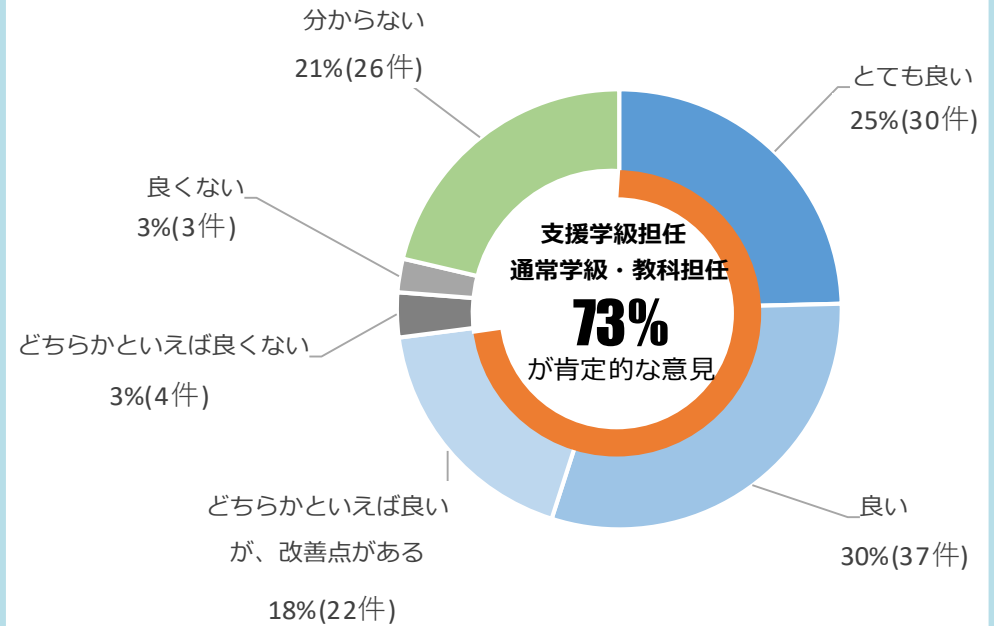
10. 柔軟に人事異動ルールを実施することについて

支援教育チーム



否定的な意見： **3%**
分からない： 27%

支援学級担任／通常学級・教科担当



否定的な意見： **6%**
分からない： 21%

10. 柔軟に人事異動ルールを実施することについて

肯定的な意見

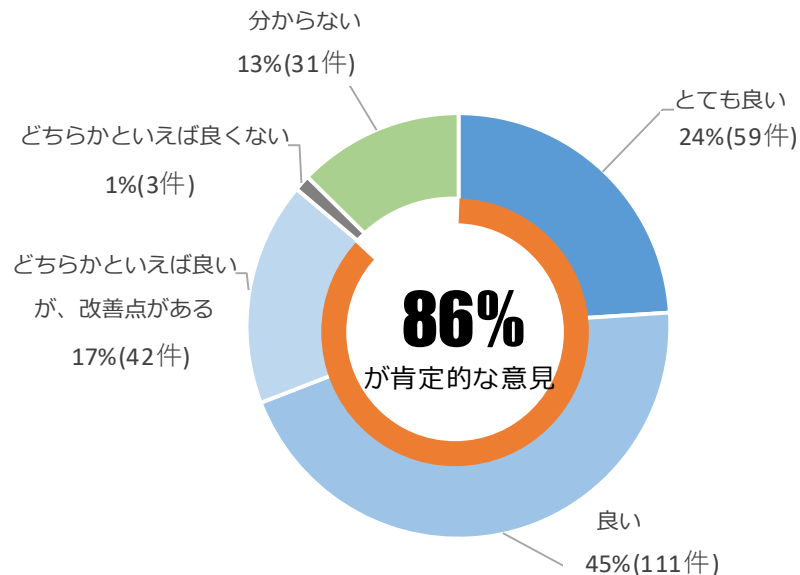
- ・ 支援教育の推進のためには大切な校内体制づくりである。（支援員）
- ・ 誰もが支援学級担任を経験することは大切だと思う。（校長・副校長）
- ・ 支援学級担任、通常学級・教科担任のどちらも経験することが大切だと思う。（支援担任）
- ・ 当然、運用を始めて良い点や課題が見えてくると思うが、経験年数の浅いうちに支援学級担任を経験することは意義深いと感じる。（校長・副校長）

改善点等

- ・ 支援学級に限らず、どの学級も担当できる人材育成を目標に進めてほしい。（教頭）
- ・ インクルーシブ教育を推進していくのであれば、支援学級担任だけでなく、全体のバランスをみて人事異動をすすめてほしい。（通級担当）
- ・ 支援教育担当だけでなく、生徒指導担当や教務担当など校内の重要ポストにおいても同様に柔軟化してほしい。（支援担任）
- ・ 初任校に限らず、2校目以降でも意欲をもって積極的に支援を担当する教員の希望を叶えてもらいたい。（首席）

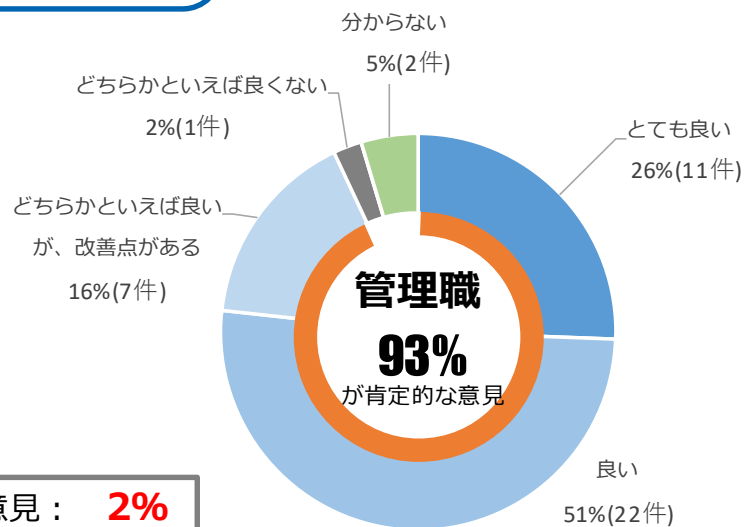
1 1. 校区連携の強化について

全体



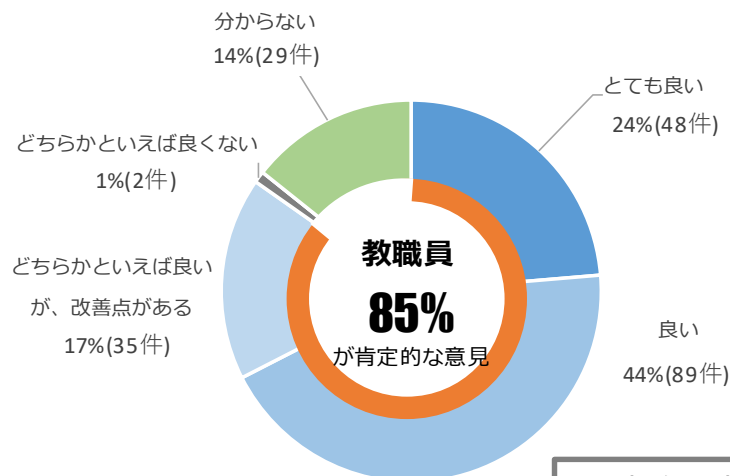
否定的な意見 : **1%**
分からない : 13%

管理職



否定的な意見 : **2%**
分からない : 5%

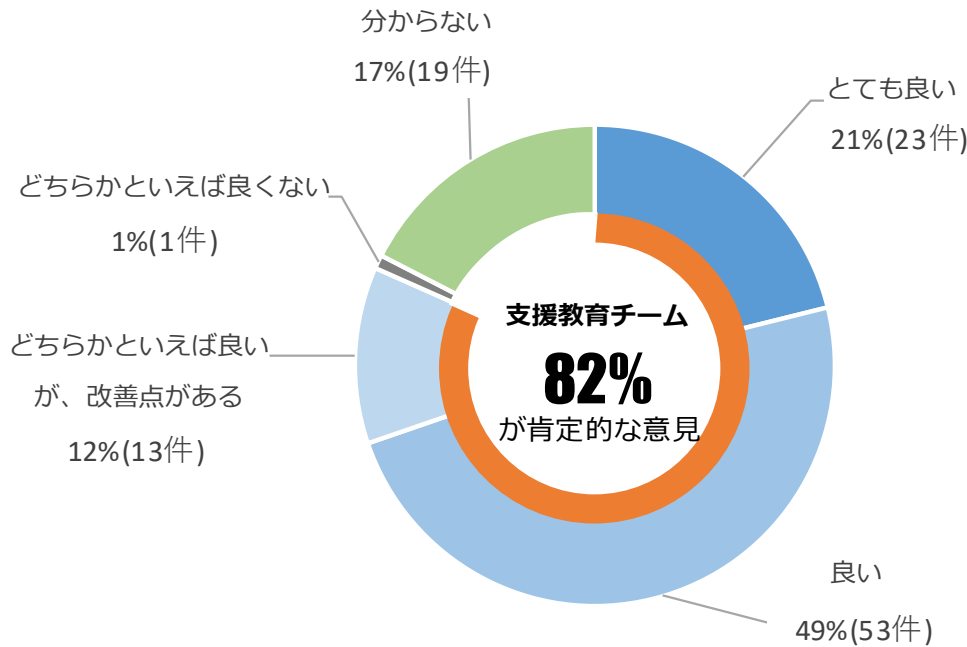
教職員



否定的な意見 : **1%**
分からない : 14%

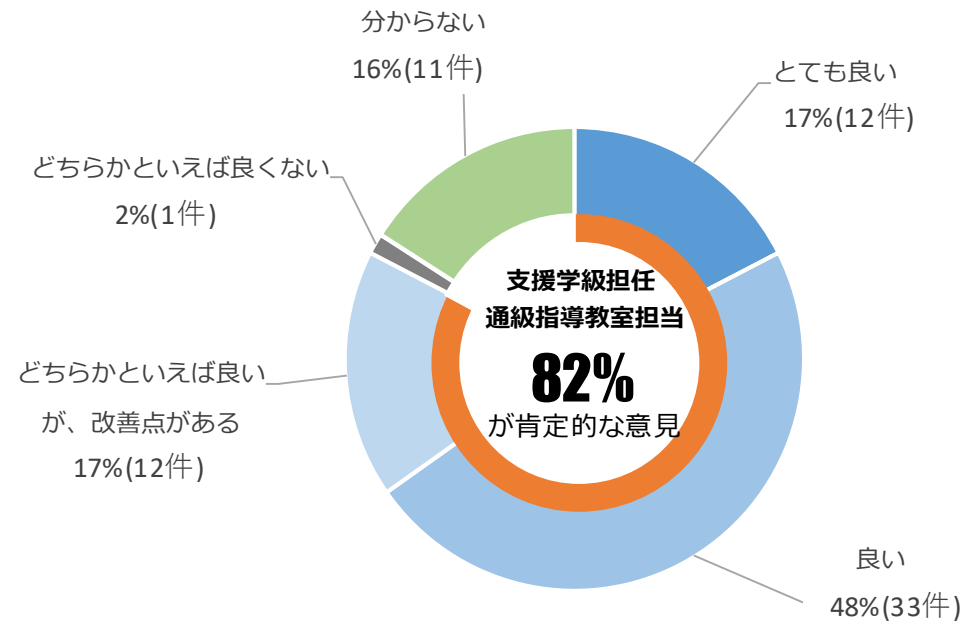
1 1. 校区連携の強化について

支援教育チーム



否定的な意見 : 1%
分からない : 17%

支援学級担任 / 通級指導教室担当



否定的な意見 : 2%
分からない : 16%

1.1. 校区連携の強化について

肯定的な意見

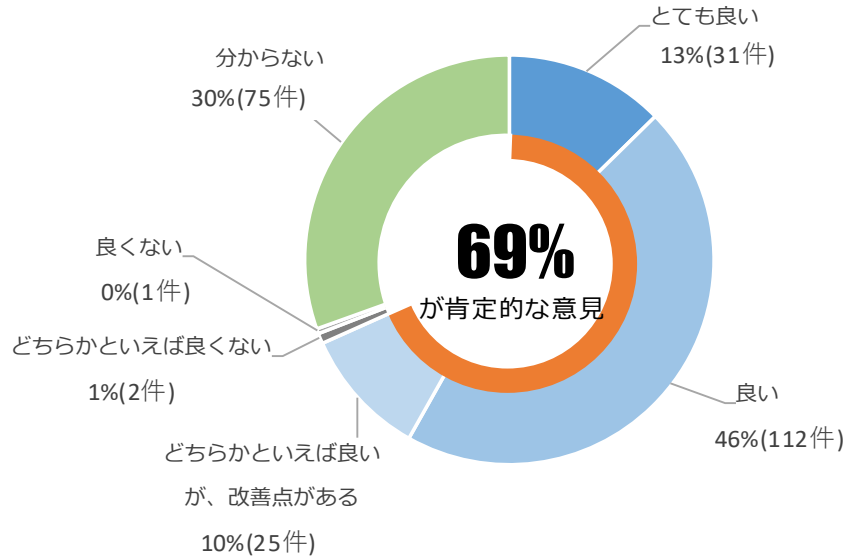
- ・ 様々な意見交換ができて良いと感じる。（通級担当）
- ・ 保幼と小学校、小学校と中学校の壁がまだまだ大きいと思うので良い取組だと思う。（通級担当）
- ・ 今年度、小中一貫教育の会議にも支援教育部ができ、校区で連携の取組ができて良かった。（支援コーディネーター）
- ・ 小中の連携について、支援の方法や児童生徒の理解に限らず、教室や児童生徒の集団づくりについての理解が必要だと感じるので良いと思う。（首席）
- ・ 民間幼稚園・保育所・子ども園をうまく巻き込んで箕面市ならではの連携を進めてほしい。（校長・副校長）

改善点等

- ・ 保幼小中の校種間入れ替えを積極的に行い、それぞれの実態を把握するべきである。（通常・教科担任）
- ・ LITALICO教育ソフトの導入を経て、指導計画の引き継ぎなど、今後の経過を見る必要がある。（支援担任）
- ・ 保幼小中の連携だけでなく、小学校同士の連携も大切である。（通級担当）
- ・ この方針が出され、何かが変わったという話を聞くことができていないため、具体例を共有してほしい。（通級担当）
- ・ 校区連携の強化をするのは良いが、会議、研修の回数が増えるため、業務軽減をする必要がある。（通常・教科担任）

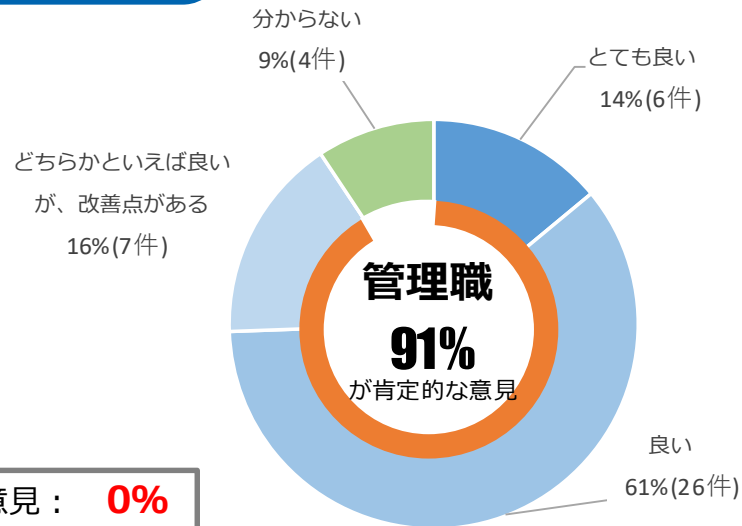
1 2. 「実態を把握する期間」の設定について

全体



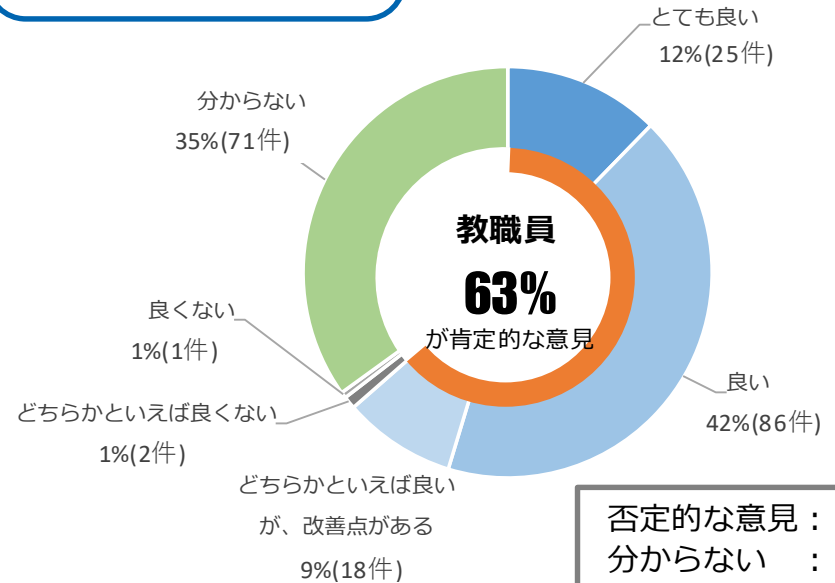
否定的な意見 : **1%**
分からない : 30%

管理職



否定的な意見 : **0%**
分からない : 9%

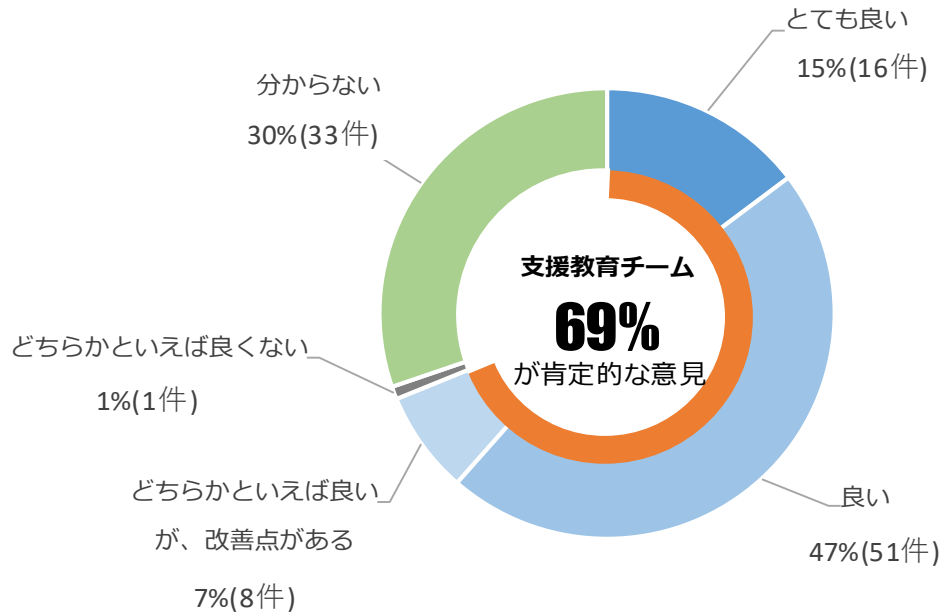
教職員



否定的な意見 : **2%**
分からない : 35%

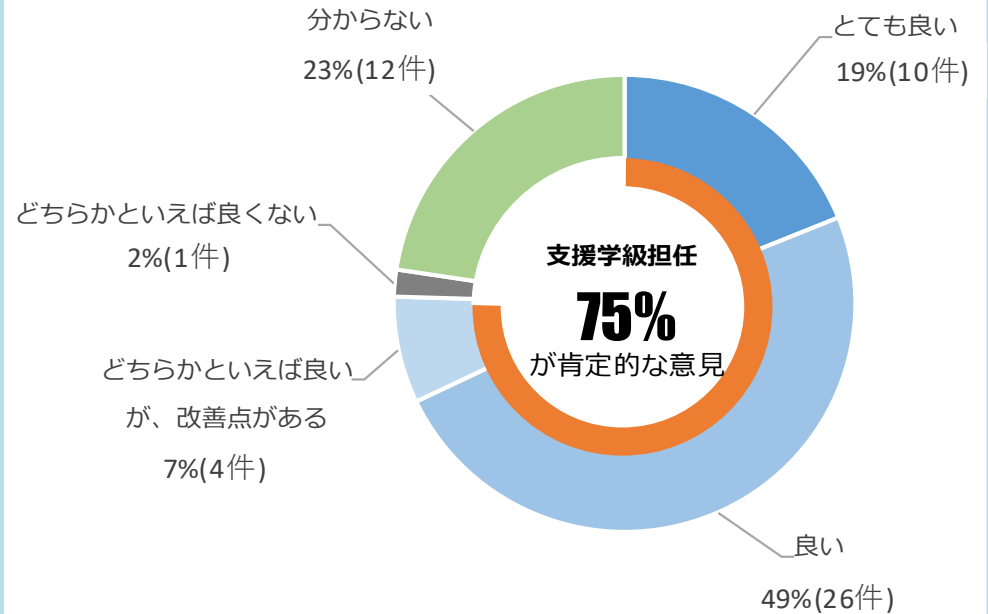
1 2. 「実態を把握する期間」の設定について

支援教育チーム



否定的な意見 : **1%**
分からない : 30%

支援学級担任



否定的な意見 : **2%**
分からない : 23%

1 2. 「実態を把握する期間」の設定について

肯定的な意見

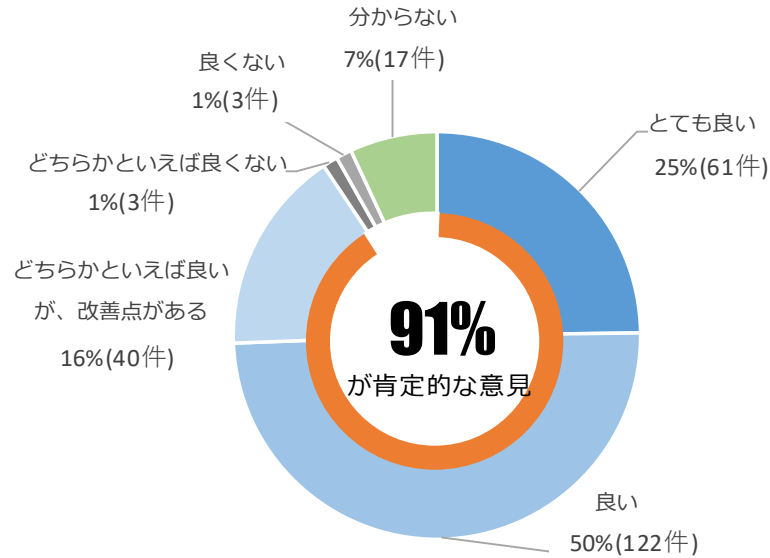
- ・入学後の児童生徒について特に必要な期間だと思う。（支援担任）
- ・設定した期間で、見立てとアセスメントを行い、作成した支援計画を保護者としっかりと共有することができる。（通級担当）
- ・保護者に周知することができて良かった。今後も周知をしてほしい。（支援担任）
- ・基本的にはこれまで行ってきたことと変わらないと思うので、市として設定することは良いと思う。（支援コーディネーター）

改善点等

- ・具体的に「いつ、どのように期間を設定するか」が大切である。（通常・教科担任）
- ・保護者にも理解してもらい、家庭・学校とも進めていくことが必要である。（首席）

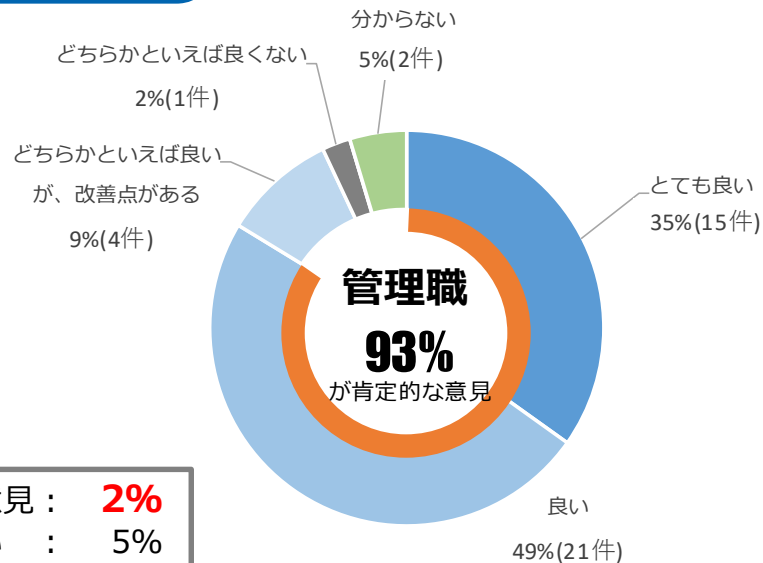
1 3. 障害理解を含む人権研修について

全体



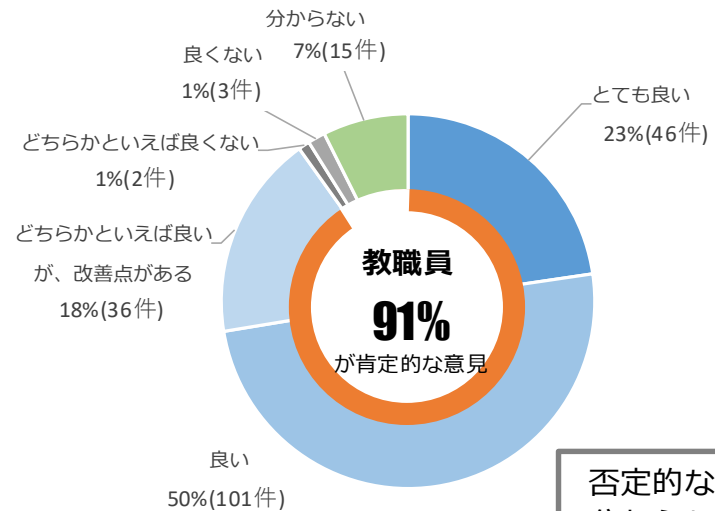
否定的な意見 : 2%
分からない : 7%

管理職



否定的な意見 : 2%
分からない : 5%

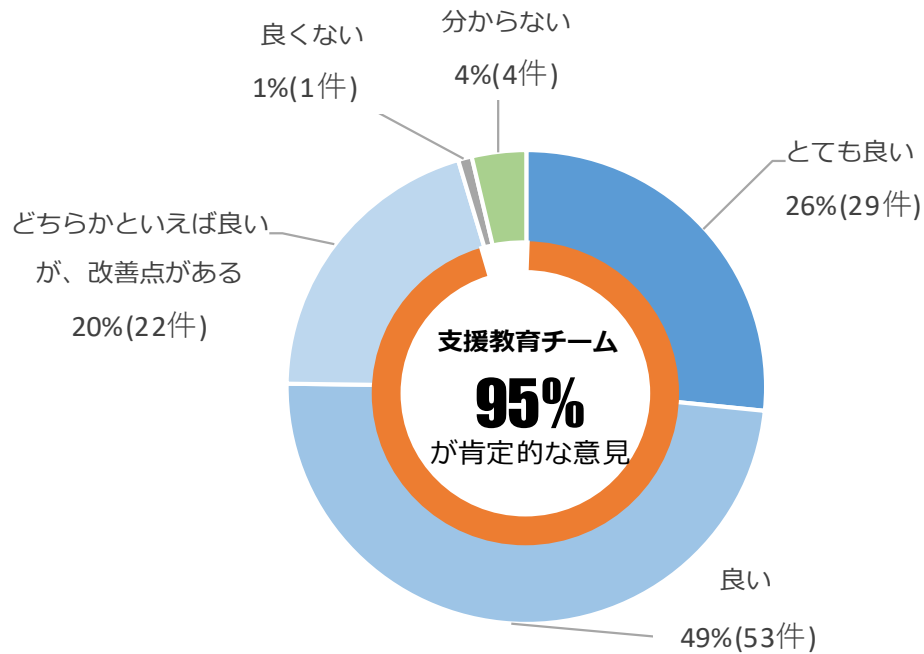
教職員



否定的な意見 : 2%
分からない : 7%

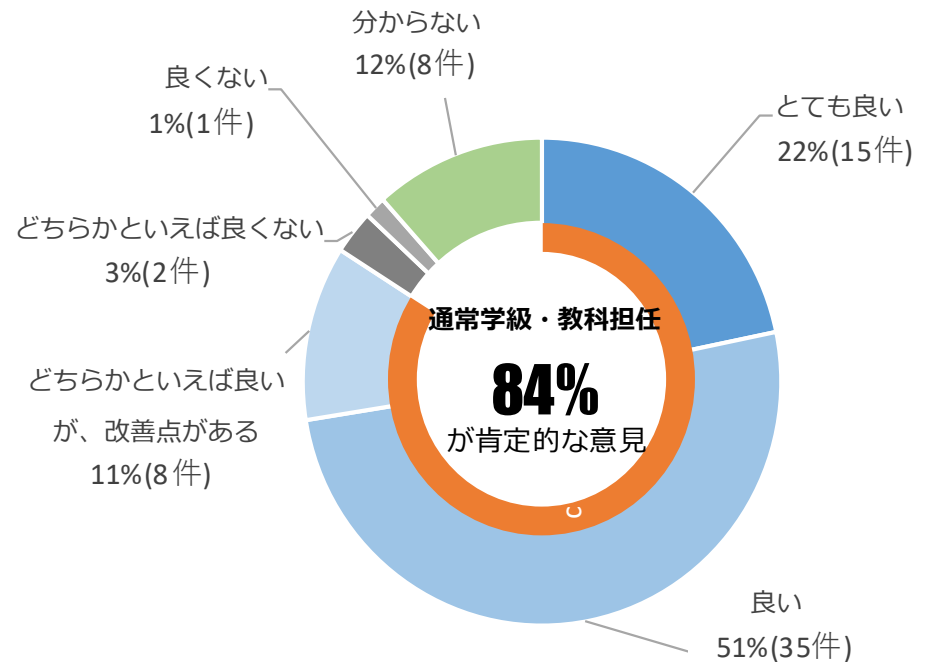
1 3. 障害理解を含む人権研修について

支援教育チーム



否定的な意見 : **1%**
分からない : 4%

通常学級・教科担任



否定的な意見 : **4%**
分からない : 12%

1 3. 障害理解を含む人権研修について

肯定的な意見

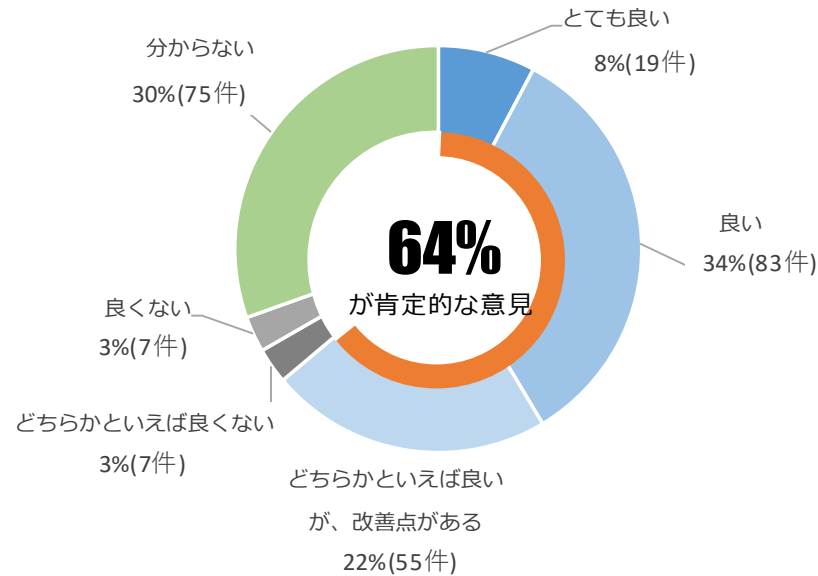
- ・ 支援関係の教職員だけでなく、全教職員に受講してほしいと思っていたのでとても良かった。（通級担当）
- ・ 「ともに学び ともに育つ」教育について、今後も考えていく必要がある。（通級担当）

改善点等

- ・ 障害理解だけでなく、全体的な人権研修も必要である。（通常・教科担任）
- ・ 「ともに学び ともに育つ」教育についての共通の理解ができるような場がトップダウンではなく、現場とともに作る機会が必要である。（首席）
- ・ 当事者やNPOに携わる人などを講師に招聘して研修を実施してほしい。（校長・副校長）
- ・ 現場代表が研究グループを作成し、授業プランを検討、研究してみてはどうか。箕人研に「ともに学び ともに育つ」部会を設ける等、「インクルーシブ」教育、「ともに学び ともに育つ」教育の明確な理念の共有が必要である。（支援担任）

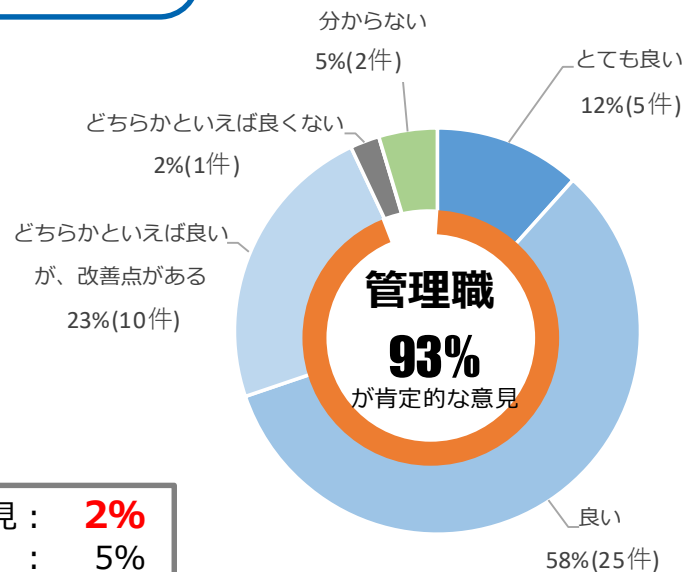
1 4. 箕面市支援教育方針における「国通知」への対応について

全体



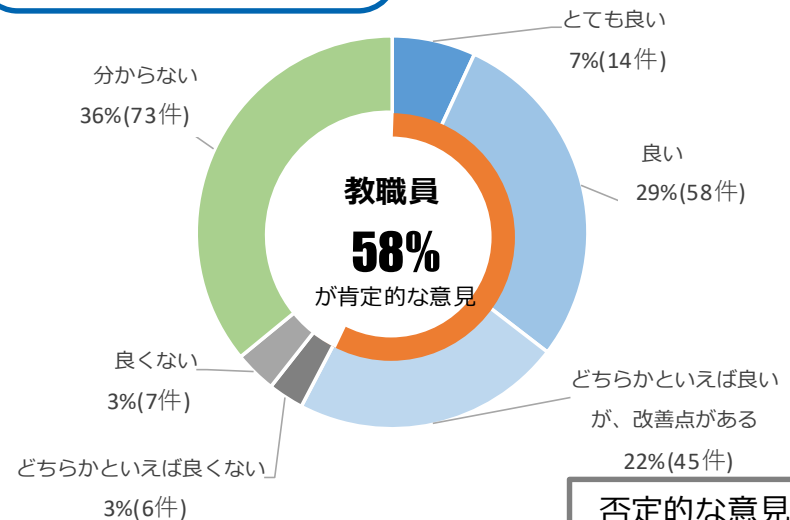
否定的な意見 : **6%**
 分からない : 30%

管理職



否定的な意見 : **2%**
 分からない : 5%

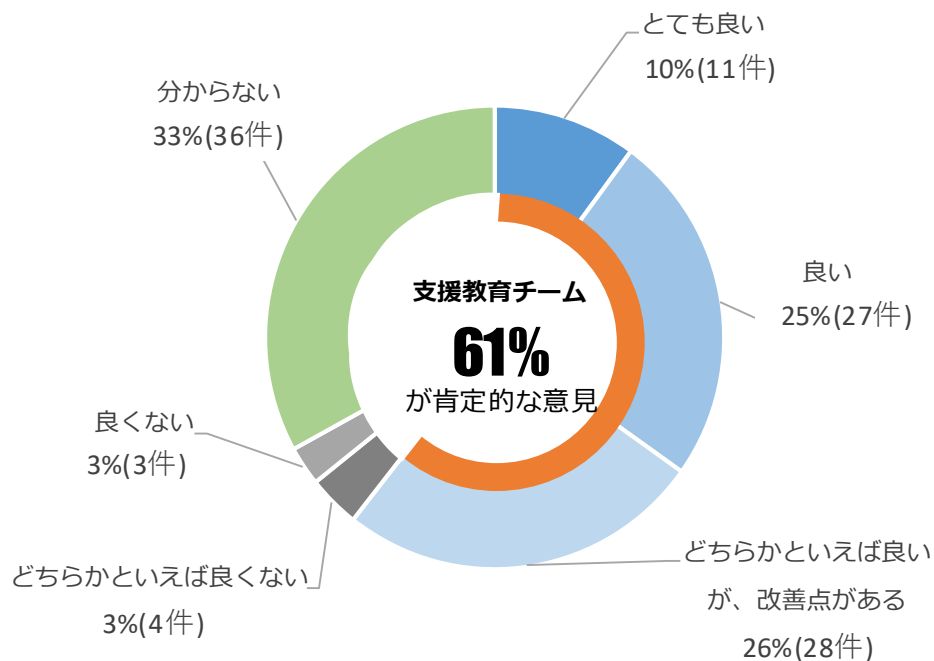
教職員



否定的な意見 : **6%**
 分からない : 36%

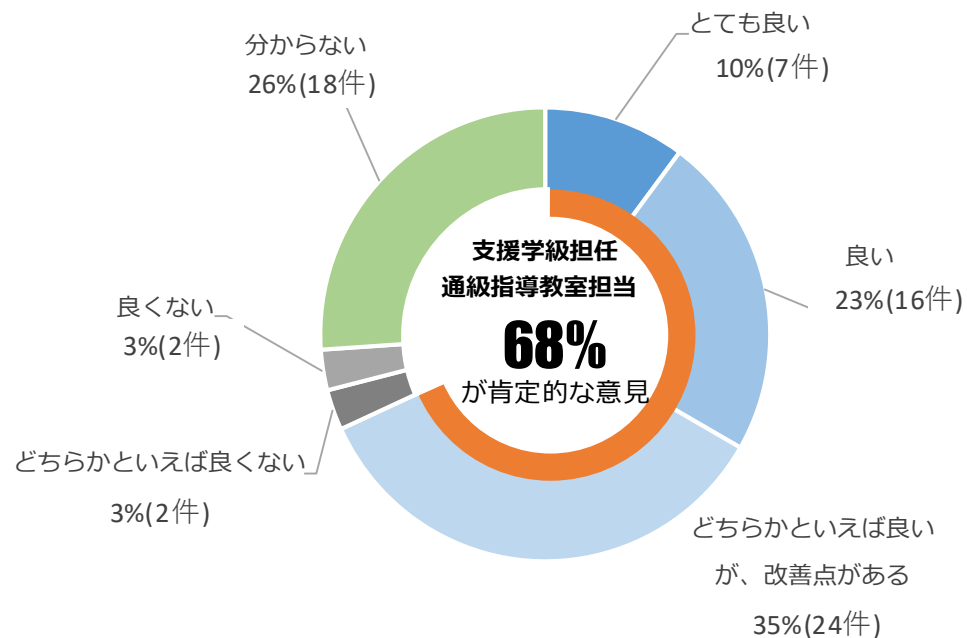
1 4. 箕面市支援教育方針における「国通知」への対応について

支援教育チーム



否定的な意見 : 6%
分からない : 33%

支援学級担任／通級指導教室担当



否定的な意見 : 6%
分からない : 26%

1 4. 箕面市支援教育方針における「国通知」への対応について

肯定的な意見

- ・市として柔軟に対応していたので良いと思う。（支援担任）
- ・「ともに学び ともに育つ」教育を引き続き実施することを言及してもらえたので良かった。（通級担当）
- ・箕面市の良さを活かした対応を今後もしてほしい。（支援担任）
- ・支援が必要な児童生徒にどのような力をつけていくかを考える機会となった。（教頭）
- ・すべての児童生徒が過ごしやすく学びやすい場をともにつくるのが大切である。（支援担任）
- ・若い教員が意見を言い出しやすい環境が必要。過去の取組だけでなく、今後も個々に応じた支援を行うことが必要である。（通級担当）

改善点等

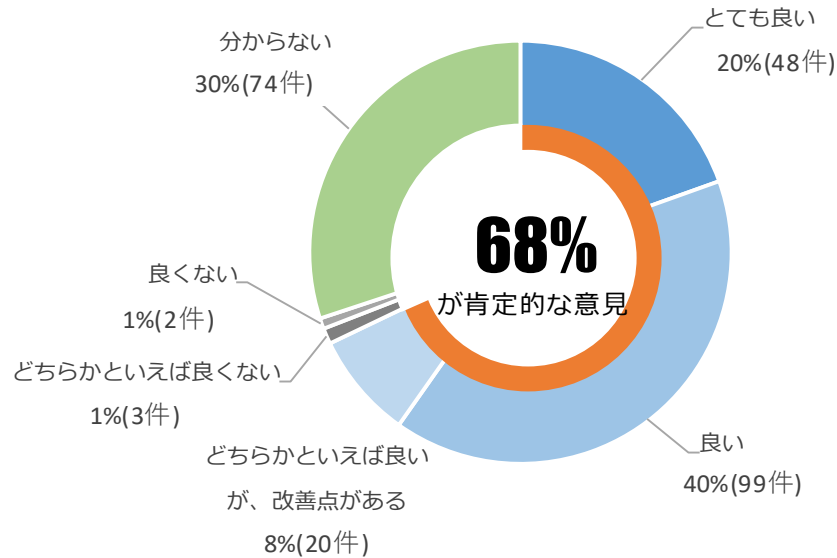
- ・授業時間の半分以上の抽出ではなく、通級以上の時間数を抽出するということに納得はできたが、その説明を保護者や児童生徒に行うことは難しいと感じる。（支援担任）

■ 検討の際の視点

保護者や児童生徒に納得してもらえるように、どのような工夫や手立てがあるか。

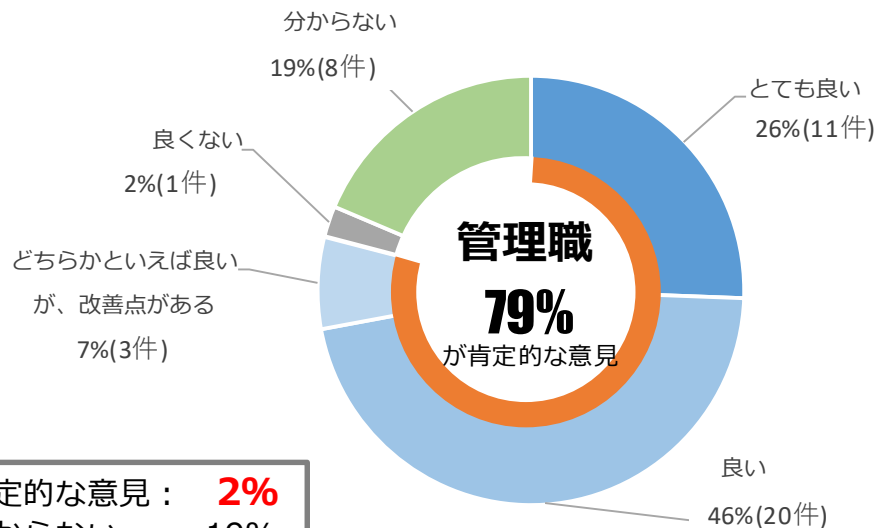
15. 「支援教育専門員」の配置について

全体



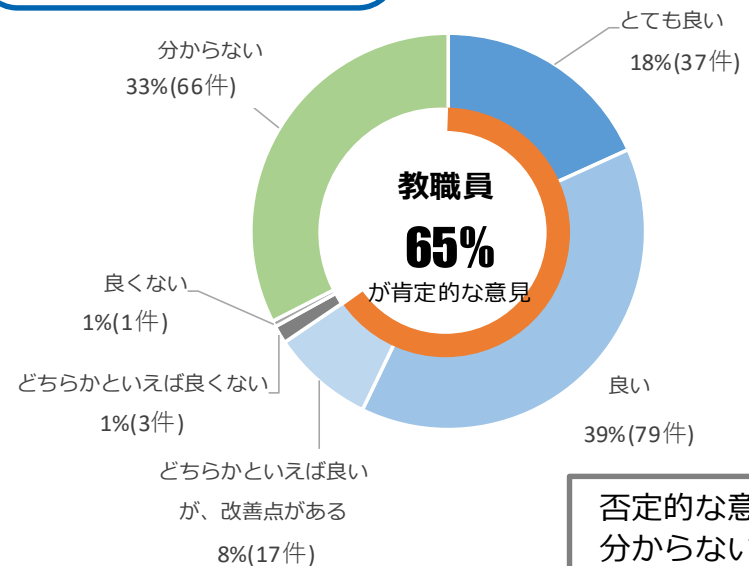
否定的な意見 : 2%
分からない : 30%

管理職



否定的な意見 : 2%
分からない : 19%

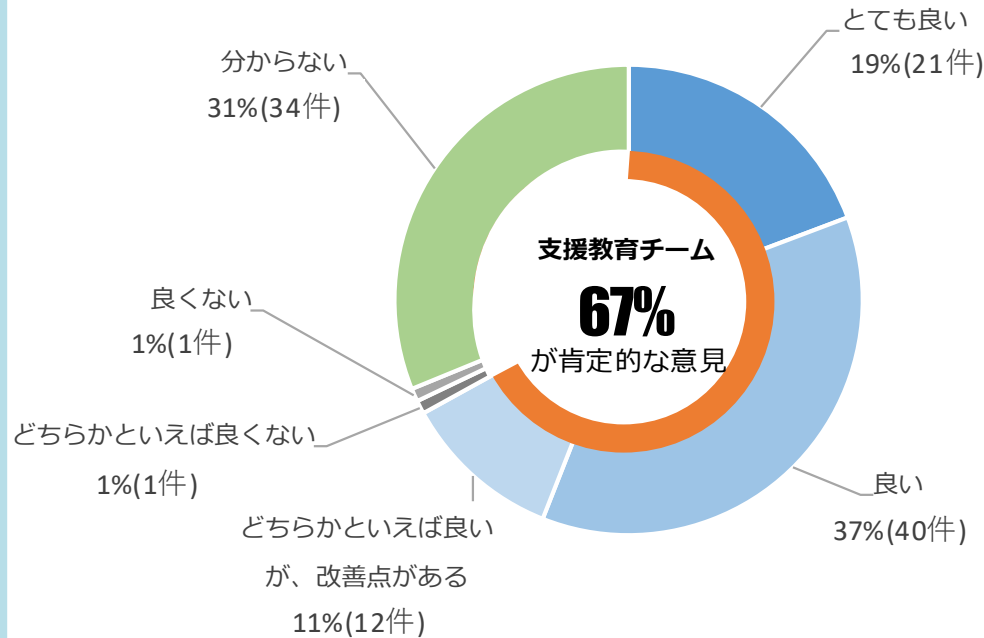
教職員



否定的な意見 : 2%
分からない : 33%

15. 「支援教育専門員」の配置について

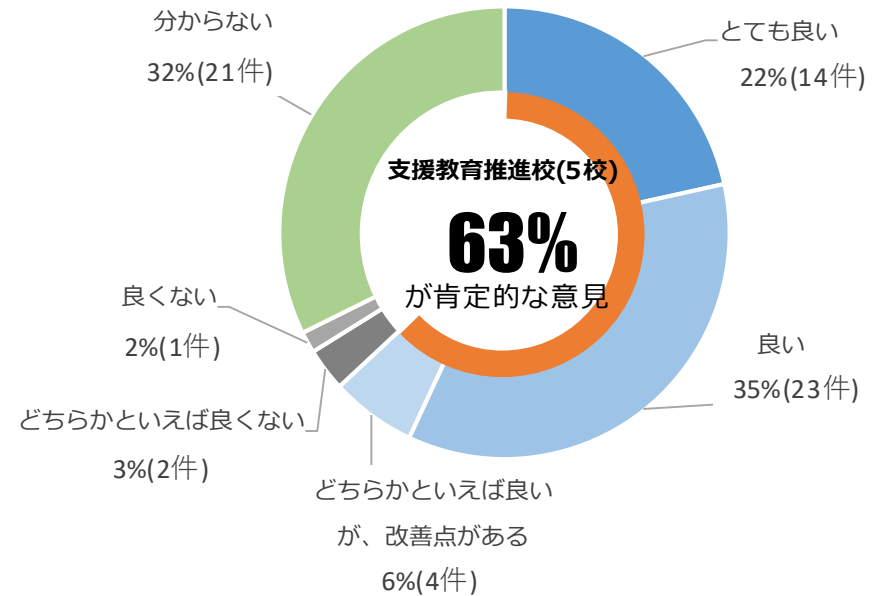
支援教育チーム



否定的な意見 : 2%
分からない : 31%

支援教育推進校(5校)※

※とどろみの森学園、中小、豊川南小、一中、五中



否定的な意見 : 5%
分からない : 32%

1 5. 「支援教育専門員」の配置について

肯定的な意見

- ・ 学校に訪問してもらい、具体的な助言をもらえるので助かっている。（校長・副校長）
- ・ 専門的な知識を持った支援教育専門員からの助言は有効な手立てとなる。（通常・教科担任）
- ・ 支援教育専門員に、学校の取組や研修の示唆をいただいている。特にUD授業を定着させるロードマップ作成などご教示いただいている。（教頭）
- ・ 実際に、学校で児童生徒の様子を見てもらい、対応や、ケース会議に参加してもらうことができ、ありがたいと感じる。（通級担当）
- ・ これからの箕面市の支援教育にとって、なくてはならないポジションで将来的には教育専門官のような市内で複数配置を希望する。もちろんその立場に即した実践・研修を積み重ねた長期展望をもった人材育成を望む。（校長・副校長）

改善点等

- ・ 支援教育専門員がどのような業務を行っているか、検証加配校以外には見えづらい部分があるため、施策を推進するという目的にとどまらず、現場の課題を把握し、ともに課題解決を図っていく形で動いてほしい。（支援担任）

■ 検討の際の視点

支援教育専門員の今後の動き方について、どのような工夫や手立てがあるか。